

令和6年度 佐呂間町教育の概要



佐呂間小学校入学式



佐呂間小学校運動会

佐呂間町教育委員会

目 次

佐呂間町の概要	1
佐呂間町教育目標	2
学校教育目標	3
佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）	4
学 校 教 育	
学 校 概 要	
佐呂間小学校	8
若佐小学校	10
浜佐呂間小学校	12
佐呂間中学校	14
佐呂間高等学校	16
学校教育団体	18
統廃合の沿革	19
社 会 教 育	
社会教育目標	24
社会教育関係事業	26
社会教育団体	34
教 育 予 算	36
教 育 施 設	
施設の概要	37
施設の利用状況	39
教育関係委員名簿	40
佐呂間町教育委員会事務局の機構	41

佐 呂 間 町 の 概 要

■ 沿 革

佐呂間町は、1894年(明治27年)、鈴木甚五郎が青森県から入植し浜佐呂間に定住したことにより歴史の1ページが始まった。その後、本州各地から農漁業を営む入植者が次々と来住、本町を開拓してきた。そして農林漁業を基幹産業とし、また、サロマ湖を中心に観光地として発展を遂げ、1994年(平成6年)に開基100年を迎えた。

■ 町名の起源

町名は、アイヌ語の「サロ・オマ・ペット(葦のあるところの川)」と「サラ・オマ(葦のあるところの沼)」が起源とされており、それが転じて「サロマ」となり、1915年(大正4年)に「佐呂間」と和文転用された。

■ 位置と面積

オホーツク管内のほぼ中央部に位置し、北見市、湧別町、遠軽町と隣接しており、北方一帯はサロマ湖に面している。総面積は、404.99平方キロメートルを有している。

■ 地 勢

佐呂間町は、大雪山系の山々を背景に、東西が細長く、北方は丘陵地帯を形成し、またその一帯は海に面している。町の中央を流れる佐呂間別川はサロマ湖へと注ぎ、流域一帯には肥沃な大地が広がっている。

■ 町 章

佐呂間町のカナ文字を「サ」が「ロ」と「マ」を囲むように図案化したものである。横棒が、全町を固く結んだ町民の心、一致団結、共存共栄、円満な理想郷を表している。



(昭和28年4月1日制定)

■ 人 口

各年9月末日現在

年	世帯数	総数	男	女
平成24年	2,461	5,725	2,739	2,986
平成25年	2,562	5,770	2,698	3,072
平成26年	2,556	5,655	2,638	3,017
平成27年	2,543	5,547	2,607	2,940
平成28年	2,495	5,387	2,538	2,849
平成29年	2,476	5,291	2,484	2,807
平成30年	2,499	5,237	2,451	2,786
令和元年	2,511	5,150	2,422	2,728
令和2年	2,461	5,015	2,367	2,648
令和3年	2,397	4,873	2,304	2,569
令和4年	2,416	4,818	2,266	2,552
令和5年	2,439	4,727	2,208	2,519

佐呂間町教育目標

森と湖の大自然に育まれた私たち町民は「英知と友愛と勇氣」をもって、明るく豊かなまちづくりを目指し、活力ある人間性豊かなたくましい人になるため、この教育目標を制定します。

みずか
自^ら学^び

とも^に磨^き合^い

ひろ^い心^と

い^きが^いを^もち

ふ^るさ^とを^あい^する

た^くま^しい^サロ^マ人^{びと}

(平成7年1月1日制定)

■ 解説

佐呂間町は、開拓以来、心豊かな人づくりを目指し、明るく平和な町づくりの創造に、英知と友愛と勇氣をもって励んできました。

これからは、新しい時代に向けて、創造的に富む知性豊かな人になるために自ら学ぶ姿勢をもち、考え、行動することが求められます。

また、自然や文化に親しみ、美しさや優しい心など、豊かな情操を培うとともに、広い心で人々と交流し、ともに磨き合い、ふるさとの発展に努めることが必要です。

さらに、町民としての責任と誇りを自覚し、自然の豊かさと調和した産業と文化の町づくりを目指して、ふるさとの発展に励むことが大切です。

そして強い意志をもって、心身を鍛え、明るくたくましく生きるために、生命を尊びふるさとの自然や特性を生かして、積極的に行動する事が望まれています。

ふるさとの21世紀を展望するとき、生涯を通じて学ぶ意欲をもち、町民一人一人が主役となり、生きがいのある生活を築く、「たくましいサロマ人」になることが期待されます。

■ 基本的指標

- 【知】
 - ・自ら学び、創造的に実践する人に
 - ・広い考えで、時代の変化にたくましく対応する人に
 - ・生涯学び続け、生きがいのある人生を築く人に
- 【情】
 - ・自然を愛し、思いやりのある心をもつ人に
 - ・郷土の文化を大切に、豊かな社会をつくる人に
 - ・広い心で、国際社会のためにつくす人に
- 【意】
 - ・責任をもち、自ら進んでやりぬく人に
 - ・勤労に喜びをもち、よりよい生活をする人に
 - ・町民としての誇りをもち、地域の発展に努める人に
- 【体】
 - ・健康安全に心がけ、進んで心身を鍛える人に
 - ・スポーツに親しみ、活力ある生活をする人に
 - ・生命を尊重し、うるおいのある生き方をする人に

学 校 教 育

学校教育目標

～自ら未来をきり拓き、たくましく生きるために～

- 自ら学び 創造力のある人に
- 郷土を愛し 豊かな心をもつ人に
- 進んで働き 最後までやりぬく人に
- 生命を尊び 明るくたくましい人に

(平成7年4月1日改定)

■ 解 説

佐呂間町は、森と湖のまちに相応しい文化の創造のため、多くの困難を乗り越え、開基100年の輝かしい歴史と伝統を築いてきました。この先人の魂を正しく継承し、21世紀を担う子ども達が調和のある発達を期すための目標であります。そして、限りない未来を拓く子どもの心身ともに健全な成長を願い「自ら考え、正しく判断できる人間性豊かなたくましい子ども」の育成を目指しています。

○自ら学び、創造力のある人に

生涯にわたって学び、創造力のある人になるためには、自ら学ぶ意欲や態度を培い基礎的・基本的内容をしっかり身につけることが大切です。

そして、個性を生かしながら思考力・判断力・表現力や情報処理能力など、生きて働く力を培い、時代の変化に対応する積極的な態度や能力を育成することが重要です。

○郷土を愛し、豊かな心をもつ人に

ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を持つ人になるためには、自然に親しみ、人間尊重の精神や感謝の心を培い、積極的に行動する態度を身につけることが大切です。

そして、広い心と温かい人間性を育て、互いに協力し合い、励まし合って郷土のために尽くす態度や国際社会に適応する能力を育成することが重要です。

○進んで働き、最後までやりぬく人に

仕事に励み、強い意志と実力を持ち、個性豊かな人になるためには自ら考え行動し、自発的に課題を解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、積極的に体験する中で、ものごとを深く探求する心を培い、自分の良さを生かしながら、最後まで根強くやりぬく力を育成することが重要です。

○生命を尊び、明るくたくましい人に

生命を大切にし、自ら心や体を鍛え、明るく生きる人になるためには、日常的に健康安全に努め、心身を磨き、自ら解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、家庭や地域との連携を密にし、生涯にわたって自ら実践するとともに、環境や社会の変化に対応できる態度や能力育成することが重要です。

佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）

どのように社会が変容し続けようとも、教育、スポーツ、芸術文化が人を育み、人の英知や想像力を最大限引き出し、生活に潤いと活力を与え、人を幸福で豊かにする根底をなすものであることは変わりありません。

人口減少や少子高齢化の進行、ICT・グローバル化の急速な発展を目の当たりにしている今、子どもたちはもとより全町民の皆様のが、心豊かに生き生きと生活を送ることができるよう、迫りくる将来をしっかりと見据え、やらなければならない学びの推進に覚悟をもって取り組んでまいります。

以下、各項目にわたりご説明申し上げます。

◎学校教育の推進

1. 確かな学力の育成

令和2年度から新しい学習指導要領に基づく教育課程が順次実施され、小学校は5年目、中学校は4年目を迎えます。

各学校においては、「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力、人間性などの涵養」の育成を目指し、ICTを積極的に活用しつつ、これまで蓄積してきた経験の良さを捉え直しながら、日々「主体的で深い学び」の授業を進化させています。

児童生徒により専門的な授業を行い、小学校教員の空き時間を確保するため、書写の授業において外部の専門家を特別非常勤講師として採用するとともに、全ての小学校において教科担任制を導入します。若佐小学校及び浜佐呂間小学校では、複式授業の解消や英語教育の充実を図るため、引き続き町単独の教員や英語補助員を採用するとともに、中学校においても引き続き町単独教員を配置し、課題に応じたきめ細かい授業実施に取り組んでまいります。

英語教育では、本年度もALTを派遣し、小中学生の外国語のコミュニケーション能力の向上などを進めてまいります。

また、いわゆる漢字検定、英検、数学検定に対する費用助成や、基礎的読解力を把握するためのリーディングスキルテストの小中学校での実施など、それぞれの目標達成に向けた取組の支援を継続してまいります。

2. ICT教育の推進

令和5年6月に策定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」により、社会全体のデジタル化がより一層進められています。

昨年、各学校に各1台の電子黒板を導入するとともに、デジタル教科書の試行が行われました。令和6年度は、小中学校の全ての普通教室に電子黒板を導入するとともに、同年度から使用する教科書採択が行われた小学校については、デジタル教科書を使用した授業を積極的に展開してまいります。

また、GIGAスクール構想を着実に進めるため、引き続きAI型ドリルなどが搭載されたeライブラリアドバンスの活用による学習支援、町内小・小学校間、小・中学校間はもとより、経済交流都市宮崎県都農町のみならず、全国や世界の様々な学校などとのWEB交流やオンライン授業を拡充してまいります。

更に、ICTに関する相談やより効果的な活用方法の助言などに対応できるよう、オンラインなどによるICT相談体制を構築するとともに、新たに「学校教育情報化推進計画」を策定いたします。

3. 特別支援教育の充実

令和5年度から国立特別支援教育総合研究所の研究協力機関となり、協議を重ねてまいりました。多様性を理解し尊重できる共生社会の担い手となる子どもたちを、地域とともに育むことを根底に位置付けた教育活動を展開してまいります。特別支援員は引き続きすべての学校に配置し、個別の指導計画に基づく、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援を確実に行ってまいります。

佐呂間小学校のことばの教室においては、一部言語発達に遅滞のある児童のため、一人ひとりに応じた支援に努めてまいります。

なお、令和5年度に開始した若佐小学校及び浜佐呂間小学校への巡回指導を継続することに加え、令和6年度から新たに佐呂間中学校も言葉の教室の巡回指導を実施いたします。

4. 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

佐呂間町教育目標には、「自ら学び ともに磨き合い 広い心と 生きがいをもち ふるさとを愛する たくましいサロマ人」と掲げられております。

この崇高な目標を踏まえ、道徳教育はもとより、将来どこに住むことになったとしても、いつまでも「ふるさと佐呂間町」に思いを馳せることを願い、令和5年度に開始した佐呂間町にゆかりのある社会人による授業に引き続き取り組んでまいります。

また、令和5年度は「ホタテ」「かぼちゃ」「栃木」の授業を展開したところですが、地域人材バンクを活用し、地域の皆様による授業を新たに展開することで、「ふるさと佐呂間」に対する想いはもとより、自らを律しつつ、自己を確立し、他者を思い遣る心や感動する心など豊かな人間性を備えた人として育ち、主体的に生きていく人材の育成を進めてまいります。

いじめ・不登校などの問題については、子どもたちの些細な変化を見逃さず、保護者の悩みに向き合うため、スクール・カウンセラーなどによる心のケアや、相談・支援の充実などを継続するとともに、「教育支援センター」の設置も進めてまいります。

5. 学校給食と心身の健やかな成長

子どもたちの心身の健全な発達の源である学校給食は、栄養教諭による食育とともに、佐呂間町の生產品の活用を第一に、地産地消の取組を推進することで、おいしく安心安全な「佐呂間町ふるさと給食」を提供するとともに、「給食だより」などを通じ、食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養ってまいります。

食物アレルギーの対応については、医師の診断に基づくアレルギー対応食を提供してまいります。

給食費については、児童生徒については引き続き無償化とし、子育て支援を図ってまいります。

併せて、子どもたちが自ら進んで運動する習慣の定着に引き続き取り組んでまいります。

6. 働き方改革の推進及び学校の組織力の向上

質の高い教育を展開するためには、教員がやりがいを感じ、子ども達と向き合う時間を確保することが重要です。

これまで展開してきた様々な取組を継続しつつ、令和5年に改訂した「学校における働き方改革佐呂間町アクションプラン」（第2期）を更に改訂し、取組をより一層前進させてまいります。

7. 0歳から18歳までを見通した教育及び部活動の地域移行

文部科学省の委託事業として、令和5年度に北海道のモデル地域として新たに立ち上げた「保小接続カリキュラム会議」は、昨年「中間まとめ」を取りまとめました。令和6年度は、中間まとめを踏まえた試行を行うとともに、保育所と小学校の合同授業・合同研修を展開し、令和7年度からの実施に向け最終報告を取りまとめます。

また、中1ギャップの解消などのため、現在の学校は存続しつつ小中学校9年間連続した教育課程を編成する「併設型小中一貫校」の令和7年度導入を目指し、具体的な取組を展開してまいります。

そのため、全ての小学校において、それぞれの学校の状況を踏まえた教科担任制を基本的に高学年において展開するとともに、佐呂間中学校に配置される加配教員が全ての小学校を巡回し、小学校高学年の算数と外国語の授業を担当するとともに、義務教育9年間を見通したそれぞれの科目のカリキュラム作りなどに着手いたします。

また、令和5年度に新たに立ち上げた「部活動の地域移行検討協議会」は、この3月を目途に答申を頂くこととなっております。未来を担う子どもたちが、持続可能な形で多様な活動を行うことで、子どもたち自身の可能性を引き出すとともに、将来の選択肢を広げることができるよう、答申を踏まえ、部活動指導員を継続配置しつつ、地域移行に向けた具体的なあり方について検討を進め、できることから順に取組を進めてまいります。

併せて、学校教育運営協議会の在り方を抜本的に見直し、小中一貫の展開に即した活動とすることで、これからの時代を見据えた質の高い教育の実現に向けて、小・小学校間、小・中学校間の連携を強化し、指導力の向上や、学校の組織力の向上を目指してまいります。

8. 佐呂間高等学校支援対策

佐呂間高等学校は、町内唯一の高等学校であります。

今後更に中学生の減少が進むことから、佐呂間高等学校存続の危機意識をよりいっそう強く持たなければなりません。

各種制度などに基づき、「大学進学者に年額50万円、短期大学・専門学校進学者に年額25万円の支給」「入学生徒に対する一人一律10万円の支給」「卒業後の就職等準備資金一人一律10万円の支給」を継続してまいります。

また、従来から支援している「模擬試験・資格取得検定受験料の全額負担」「部活動遠征費及び体育文化活動費の補助」などに加え、全道から集う同学年の生徒とともに学ぶことで、自らの学びの意欲を高めるとともに、同級生や後輩への良きインフルエンサーとなることを期待し令和5年度に新たに創設した「夏季・冬季講習会受講補助」の支援も引き続き講じてまいります。

なお、一人でも多くの生徒に佐呂間高等学校への進学を希望してもらうためには、魅力ある高校づくりが肝要です。地域魅力発見事業である「佐呂間高校生フォトコンテスト」の継続や、大学教員による講義などの実施に加え、高等学校存続対策協議会において関係者の皆様と協議を重ねてまいります。

◎社会教育の推進

1. 社会教育の推進

社会教育については、佐呂間町社会教育目標を基底とする第8次佐呂間町社会教育中期計画を踏まえ、町民の自発的・主体的な学習の支援、乳幼児から高齢者までのニーズに応じた幅広い事業展開、交流活動への参加、体験機会の充実に努めてまいります。

また、学校教育と社会教育がより一層連携し、学校・家庭・地域が深く結びついた社会教育事業を展開してまいります。

芸術・文化は生活を明るく豊かにするものであります。文化講演会や鑑賞事業の開催により、芸術文化に満ち溢れた「まちづくり」を推進し、町内外への情報発信に努めてまいります。

2. 図書館事業の推進

図書館事業については、子どもたちへの絵本の読み聞かせ、成人式での本の贈呈など、本に親しむ取組を引き続き進めてまいります。

また、移動図書館車あおぞら号による巡回、絵本原画展やボランティアサークルによる人形劇公演の開催、子ども向けの工作やクイズなどのイベントの実施により、本への関心向上や図書館の利用促進に取り組んでまいります。

また、安心して快適な図書館を目指し、図書除菌器や閲覧室の冷房設備設置を進めてまいります。

学校との連携は、学校の図書担当教諭と協力して学校図書室の整理を行い、児童生徒が利用しやすい図書室づくりと読書活動の推進に取り組んでまいります。

このほか、「図書館だより」などにより、図書館情報を広く提供し、図書館サービスの充実に努めてまいります。

3. 社会体育の推進

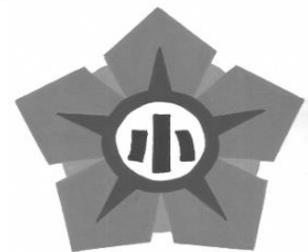
スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものであり、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであります。

そのため、各種スポーツ活動の支援や環境の整備に努め、「生涯スポーツの町宣言」に沿ったスポーツの振興を図ってまいります。

社会体育の中核施設である武道館・温水プールについては、指導の充実に努め、町民の体力・健康づくりの場として様々な事業に取り組んでまいります。

◎教育関係施設の整備

学校、図書館、給食センター、武道館・温水プールなどの教育関係施設の整備については、令和3年度からスタートした「第5期佐呂間町総合計画」を基本として、限られた財源を効果的に活用しながら、より長く活用できる施設整備に取り組んでまいります。

佐 呂 間 小 学 校				校			
所 在 地	常呂郡佐呂間町字幸町1番地の1			章			
創 立 年 月 日	平成18年 4月 1日						
沿 革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により旧佐呂間小・知来小・仁倉小・若里小・富武士小が、新「佐呂間小学校」として開設される					
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始					
	平成21年 4月	二学期制実施					
	平成25年 4月	言語障害通級指導教室（ことばの教室）開設					
教 職 員 等	校 長	池 田 潤		教 諭	後 藤 理 奈	言語通級	
	教 頭	大 平 博 司		教 諭	久 保 と も 子	言語通級	
	教 諭	尾 関 由 未 奈	1 年	教 諭	水 口 志 穂	言語通級 (育休)	
	教 諭	大 矢 貴 博	2 年	教 諭	阿 部 翔 平	専 科	
	教 諭	河 合 建 弥	3 年	養 護 教 諭	近 藤 紫 保		
	教 諭	佐 藤 駿 世	4 年	栄 養 教 諭	大 島 智 恵		
	教 諭	岩 本 昂 己	5 年	事 務 主 幹	八 木 崇		
	教 諭	古 間 木 由 貴 子	6 年	公 務 補	富 田 正 之		
	教 諭	菅 芳 香	学 習 室	特 別 支 援 員	宮 崎 美 知 子		
	教 諭	岩 田 治	学 習 室	特 別 支 援 員	天 野 朋 子		
	教 諭	吉 田 康 祐	学 習 室	特 別 支 援 員	本 田 ま ゆ み		
	教 諭	泉 ま ど か	学 習 室	特 別 支 援 員	堀 内 靖 子		
	教 諭	山 内 蒼 真	学 習 室	時 間 講 師	野 村 陽 子		
	教 諭	坂 本 香 織	学 習 室				
教 諭	江 口 千 裕	学 習 室					
教 諭	工 藤 学	言 語 通 級					
児 童 数	学 年	児 童 数	学 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数	
	1 年	12	1	5 年	17	1	
	2 年	21	1	6 年	16	1	
	3 年	12	1	特 別 支 援	14	6	
	4 年	16	1	合 計	108	12	
学 校 運 営 協 議 会	山 保 浩 之	杉 山 友 洋	三 田 真 美	高 橋 紀 久			
	船 木 英 理 子	池 田 潤	大 平 博 司				
P T A	会 長	杉 山 友 洋		事 務 局	大 平 博 司 (教 頭)		
	副 会 長	河 井 裕 樹		会 計	渋谷 明		
	副 会 長	菊 地 等		会 計	八 木 崇 (事 務)		
	事 務 局 長	惣 田 正					

教育目標

わたしたちは、
 ふるさとの 大地に立つ
 伸びゆく サロマの子です。

- ・すすんで まなぶ子
- ・たすけあう やさしい子
- ・げんきで たくましい子

重点目標

自分で考え行動できる児童の育成（自立）
 お互いに認め合い共に成長できる育生（共生）

研究主題

一人一人のよさや可能性を伸ばす子どもの育成
 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を
 目指した効果的なICT活用を通して～

基本的な課日

	月	火	水	木	金
8:05	登校	登校	登校	登校	登校
8:25	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習
8:35	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会
9:20	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目
9:25					
10:10	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目
10:30	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動	自由遊び 業間活動
11:15	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目
11:20					
12:05	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目
12:45	給食	給食	給食	給食	給食
13:05	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:25	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃
14:10	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目
14:15	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	学級帰りの会	帰りの会 移動
15:00	6時間目	6時間目		6時間目	14:25 クラブ活動 児童委員会
15:15	学級帰りの会	学級帰りの会		学級帰りの会	15:10
15:30	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校

校歌

佐呂間小学校校歌

作詞 作曲 松田 彰
 光

一
 朝は輝く 光を浴びて
 希望を胸に 通う路
 声かけ合って 手を結び
 みんなで創ろう 佐呂間

小
 花も草木も 小鳥の声も
 みんなやさしく 包み合
 自然の息吹 受けとめて
 みんなで歩もう 佐呂間

う

若 佐 小 学 校				校 章		
所 在 地		常呂郡佐呂間町字中園38番地の1				
創 立 年 月 日		平成18年 4月 1日				
沿 革	平成18年 4月 1日		佐呂間町学校再編成により、旧栄小学校と若佐小学校が、新「若佐小学校」として開設される			
	平成18年 4月 6日		開校式 校旗・校章制定			
	平成18年 7月27日		旧若佐中学校校舎へ移転			
	平成18年 8月21日		校門除幕式			
	平成19年 4月 9日		佐呂間町学校給食センター開設により給食開始			
	平成21年 4月		二学期制実施			
教 職 員 等	校 長	小林 冬季		養 護 教 諭	佐久間 梨 緒	
	教 頭	日 村 航		事 務 職 員	大 崎 みゆき	
	教 諭	武 本 太	1・2年	公 務 補	本 間 篤 史	
	教 諭	齋 藤 文 枝	3・4年	特 別 支 援 員	村 山 知 佐	
	教 諭	落 合 真 奈 美	自 情 学 級	学 習 指 導 員	村 井 栄 子	
	教 諭	橋 場 哉 子	知 的 学 級	時 間 講 師	五 十 嵐 智	
	教 諭	三 野 愛 莉	5・6年	教 育 業 務 支 援 員	田 村 巧	
児 童 数 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数
	1 年	1	1	5 年	8	1
	2 年	2		6 年	6	
	3 年	3	1	特 別 支 援	4	2
	4 年	4		合 計	28	5
学 校 運 営 協 議 会 委 員	佐々木 孝三郎		千 葉 義 則	柳 原 悟	田 宮 英 明	
	谷 口 元 気		大 谷 宏 明	小 林 冬 季	日 村 航	
P T A	会 長	谷 口 元 気		会 計	近 藤 由 美	
	副 会 長	田 宮 拓 郎		会 計	大 崎 みゆき	
	副 会 長	川 又 崇 史		事 務 局 長	日 村 航	
	副 会 長	守 口 智 美				

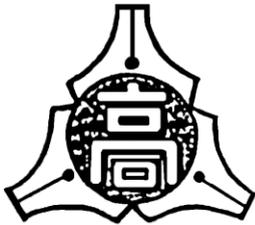
教育目標	<input type="checkbox"/> 考える子 …………… (知) 【本気】 ・自ら学び、創り出す <input type="checkbox"/> 助け合う子 …………… (徳) 【勇氣】 ・自他の立場を考え、協力する <input type="checkbox"/> 強い体の子 …………… (体) 【根気】 ・心身ともに健康でたくましく最後までやりぬく																																										
重点目標	『つなげよう、つながろう!』																																										
研究主題	自ら学び共に高めあう子どもの育成 ～「コミュニケーション能力の向上」を目指した授業構成～																																										
基本的な課 目	<table border="0"> <tr><td>児童登校</td><td>～</td><td>8:00</td></tr> <tr><td>朝の活動・朝の会</td><td>8:00</td><td>～ 8:20</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:20</td><td>～ 9:05</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:10</td><td>～ 9:55</td></tr> <tr><td>中休み</td><td>9:55</td><td>～ 10:10</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:15</td><td>～ 11:00</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:05</td><td>～ 11:50</td></tr> <tr><td>昼食</td><td>11:50</td><td>～ 12:35</td></tr> <tr><td>昼休み・清掃</td><td>12:35</td><td>～ 12:50</td></tr> <tr><td>5校時</td><td>12:55</td><td>～ 13:40</td></tr> <tr><td>帰りの会</td><td>13:40</td><td>～ 13:50</td></tr> <tr><td>6校時</td><td>13:50</td><td>～ 14:35</td></tr> <tr><td>各種活動</td><td>14:35</td><td>～ 14:50</td></tr> <tr><td>児童下校</td><td>14:50</td><td></td></tr> </table>	児童登校	～	8:00	朝の活動・朝の会	8:00	～ 8:20	1校時	8:20	～ 9:05	2校時	9:10	～ 9:55	中休み	9:55	～ 10:10	3校時	10:15	～ 11:00	4校時	11:05	～ 11:50	昼食	11:50	～ 12:35	昼休み・清掃	12:35	～ 12:50	5校時	12:55	～ 13:40	帰りの会	13:40	～ 13:50	6校時	13:50	～ 14:35	各種活動	14:35	～ 14:50	児童下校	14:50	
児童登校	～	8:00																																									
朝の活動・朝の会	8:00	～ 8:20																																									
1校時	8:20	～ 9:05																																									
2校時	9:10	～ 9:55																																									
中休み	9:55	～ 10:10																																									
3校時	10:15	～ 11:00																																									
4校時	11:05	～ 11:50																																									
昼食	11:50	～ 12:35																																									
昼休み・清掃	12:35	～ 12:50																																									
5校時	12:55	～ 13:40																																									
帰りの会	13:40	～ 13:50																																									
6校時	13:50	～ 14:35																																									
各種活動	14:35	～ 14:50																																									
児童下校	14:50																																										
校歌	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p> </td> <td style="vertical-align: top; text-align: center;"> <p>若佐小学校校歌</p> <p>作詞 小林幸男 作曲 大野恒一</p> </td> </tr> </table>	<p>三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p>	<p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p>	<p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p>	<p>若佐小学校校歌</p> <p>作詞 小林幸男 作曲 大野恒一</p>																																						
<p>三 樹花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p>	<p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く素直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p>	<p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p>	<p>若佐小学校校歌</p> <p>作詞 小林幸男 作曲 大野恒一</p>																																								

浜 佐 呂 間 小 学 校				校 章		
所 在 地		常呂郡佐呂間町字浜佐呂間167番地				
創 立 年 月 日		平成18年 4月 1日				
沿 革	平成18年 4月 1日		学校再編成により旧浜佐呂間小学校区、旧幌岩小学校校区を合併し、新「浜佐呂間小学校」として設立			
	平成18年 4月 6日		開校式 校旗・校歌制定4学級 35名			
	平成19年 4月 9日		佐呂間町学校給食センター開設により給食開始			
	平成21年 4月		二学期制実施			
教 職 員 等	校 長	中 垣 孝		事務職員	小 野 夏 花	
	教 頭	上 野 さえ子		公務補	桜 井 茂	
	教 諭	樋 口 誠	特別支援	特別支援員	神 崎 律 子	
	教 諭	山 田 純 子	2年	学習指導員	岩 城 巖	
	教 諭	畠 山 泰 彦	3・4年	学校支援員	宮 島 千 秋	
	教 諭	岩 本 和 侑	5・6年	時間講師	野 村 陽 子	
	養護教諭	林 由美子		時間講師	五十嵐 智	
児 童 数	学 年	児 童 数	学 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数
	1 年	0	0	5 年	4	1
	2 年	3	1	6 年	1	
	3 年	1	1	特別支援	1	1
	4 年	3		合 計	13	4
学 校 運 営 会 協 議 会	村 岡 竹 雄		佐々木 秀 章	藤 原 一 成	諸 岡 篤 史	
	堀 米 拓 也		中 垣 孝	上 野 さえ子		
P T A	会 長	土 門 伸 介		生活部長	夏 川 貴 夫	
	副 会 長	矢 島 大 樹		文化部長	伊 藤 真 琴	
	監 査	諸 岡 篤 史		事務局長	上 野 さえ子	
	監 査	齊 藤 直 哉		会 計	小 野 夏 花	

教育目標	明日の郷土 <small>ふるさと</small> を拓 <small>ひら</small> くたくましい子ども 学ぶ子 心豊かな子 健やかな子																																																												
重点目標	『認め合い、つながり合う子どもの育成』																																																												
研究主題	主体的に学び、考え方を伝え合い、深め合うことのできる子どもの育成 ～効果的なICT機器の活用実践を目指して～																																																												
基本的な課 目	<table border="0"> <tr><td>職員出勤</td><td>8:00</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>児童登校</td><td>8:05</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>職員朝会・朝学習</td><td>8:05</td><td>～</td><td>8:25</td></tr> <tr><td>朝の会</td><td>8:25</td><td>～</td><td>8:35</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:35</td><td>～</td><td>9:20</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:25</td><td>～</td><td>10:10</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:30</td><td>～</td><td>11:15</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:20</td><td>～</td><td>12:05</td></tr> <tr><td>給食</td><td>12:05</td><td>～</td><td>12:45</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>12:45</td><td>～</td><td>13:00</td></tr> <tr><td>昼休み</td><td>13:00</td><td>～</td><td>13:20</td></tr> <tr><td>5校時</td><td>13:20</td><td>～</td><td>14:05</td></tr> <tr><td>6校時</td><td>14:10</td><td>～</td><td>14:55</td></tr> <tr><td>帰りの会</td><td>14:55</td><td>～</td><td>15:05</td></tr> <tr><td>下校</td><td>15:15</td><td></td><td></td></tr> </table>	職員出勤	8:00			児童登校	8:05			職員朝会・朝学習	8:05	～	8:25	朝の会	8:25	～	8:35	1校時	8:35	～	9:20	2校時	9:25	～	10:10	3校時	10:30	～	11:15	4校時	11:20	～	12:05	給食	12:05	～	12:45	清掃	12:45	～	13:00	昼休み	13:00	～	13:20	5校時	13:20	～	14:05	6校時	14:10	～	14:55	帰りの会	14:55	～	15:05	下校	15:15		
職員出勤	8:00																																																												
児童登校	8:05																																																												
職員朝会・朝学習	8:05	～	8:25																																																										
朝の会	8:25	～	8:35																																																										
1校時	8:35	～	9:20																																																										
2校時	9:25	～	10:10																																																										
3校時	10:30	～	11:15																																																										
4校時	11:20	～	12:05																																																										
給食	12:05	～	12:45																																																										
清掃	12:45	～	13:00																																																										
昼休み	13:00	～	13:20																																																										
5校時	13:20	～	14:05																																																										
6校時	14:10	～	14:55																																																										
帰りの会	14:55	～	15:05																																																										
下校	15:15																																																												
校歌	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;"> 三 夕日に映える サロマ湖は 清き心を 写しだす 尊き知恵を 学びつつ 創ろう我等の </td> <td style="text-align: center;"> 二 広き海原 オホーツク 波は奏でる 楽の音を 明日の夢に 羽ばたこう 創ろう我等の 浜佐呂間小学校 </td> <td style="text-align: center;"> 一 木々のざわめき 背に受けて 笑み交わし 集う庭 仲間の絆 伝えつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校 </td> <td style="text-align: center;"> 浜佐呂間小学校校歌 作詞・作曲 松田 彰光 </td> </tr> </table>	三 夕日に映える サロマ湖は 清き心を 写しだす 尊き知恵を 学びつつ 創ろう我等の	二 広き海原 オホーツク 波は奏でる 楽の音を 明日の夢に 羽ばたこう 創ろう我等の 浜佐呂間小学校	一 木々のざわめき 背に受けて 笑み交わし 集う庭 仲間の絆 伝えつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校	浜佐呂間小学校校歌 作詞・作曲 松田 彰光																																																								
三 夕日に映える サロマ湖は 清き心を 写しだす 尊き知恵を 学びつつ 創ろう我等の	二 広き海原 オホーツク 波は奏でる 楽の音を 明日の夢に 羽ばたこう 創ろう我等の 浜佐呂間小学校	一 木々のざわめき 背に受けて 笑み交わし 集う庭 仲間の絆 伝えつつ 創ろう我等の 浜佐呂間小学校	浜佐呂間小学校校歌 作詞・作曲 松田 彰光																																																										

佐呂間中学校				校			
所在地	常呂郡佐呂間町字幸町9番地の1			章			
創立年月日	昭和22年 5月 1日						
沿革	昭和22年 5月 1日	佐呂間村立中佐呂間中学校として開校					
	昭和28年 4月 1日	町制施行・字名変更により佐呂間町立佐呂間中学校と改称					
	昭和40年 4月 1日	若里中学校・知来中学校・富富士中学校を統合					
	昭和41年 4月 1日	仁倉中学校を統合					
	平成11年 4月 1日	幌岩中学校を統合					
	平成18年 4月 1日	若佐中学校・浜佐呂間中学校を統合					
教職員等	校長	安田吉雄		教諭	谷口詩歩	3A第二担	
	教頭	畑中将志		教諭	湯川真	情緒	
	教諭	伊藤浩司	1A第一担	教諭	深川敬史	情緒	
	教諭	藤田洋平	1A第二担	教諭	渡辺慎司	知的	
	教諭	清水陽介	1A第二担	時間講師	佐伯文子		
	教諭	藤澤充昌	1A第二担	養護教諭	小杉いおり		
	教諭	平馬裕	2A第一担	事務職員	加葉田克哉		
	教諭	酒井奈央	2A第二担	公務補	中村宏		
	教諭	湯澤栞	2A第二担	特別支援員	笹川里美		
	教諭	古舘遼	2A第二担	特別支援員	安藤由紀恵		
	教諭	大浦泰廣	3A第一担	特別支援員	津村接美		
	教諭	佐々木睦明	3A第二担	育休	ホーランド`淑恵		
生徒数	学年	生徒数	学級数	部活動の状況			
	1年	39	1	野球部 ・ サッカー部 男女バスケットボール部 男女バレーボール部 バドミントン部・吹奏楽部			
	2年	32	1				
	3年	36	1				
	特別支援	5	2				
	合計	112	5				
学校運営協議会委員	会長	尾崎実		安藤由		安田吉雄	
	副会長	小池一史		山前美緒		畑中将志	
	委員	為広裕司		河井裕樹			
PTA	会長	河井裕樹			副会長	名雪彰	
	副会長	本田浩之			監査	中村雄大	
	監査	中道奈応子			事務局長	畑中将志	

教育目標	<p>ともに磨き合い、たくましく生きる人を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ生徒（知） ・思いやりのある生徒（徳） ・たくましい生徒（体） 																												
経営の重点	<p>重点1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくり）</p> <p>①適切な教育課程を編成と、指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充 ア. 授業改善の取組と研修体制の充実（「Teaching」から「Learning」主体の授業への転換） イ. これまでの実践にICTの最適な活用を図った協働的な学びによる問題解決能力の育成 ウ. 小中一貫教育の推進（小中9年間を見通した教育課程の協働連携） エ. 「オールオホーツクで学力向上を」の取組の充実 オ. ICT 機器の活用と情報活用能力の育成（情報モラル教育を含む） カ. 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実（ユニバーサルデザインを生かした授業づくり）</p> <p>②未来に生きる力の育成と豊かな人間性を育む教育の推進 ア. Education2030 の実現に向けた取組の推進（国際理解教育、持続可能な開発目標・SDGs 等） イ. 「考え、議論する道徳」を通し、質の高い指導による道徳的实践力の育成 ウ. 情報モラル教育の一層の充実と生徒の居場所のある環境づくりと問題行動の未然防止 エ. 「自己肯定感と自己有用感」を実感させ、キャリア形成と自己実現に向け「勤労観と職業観」を育成 オ. 特別支援コーディネーターを中心とする教職員の専門性向上のための研修の充実 カ. 必要に応じて適切な支援が受けられる「連続性のある多様な学びの場」の整備</p> <p>③心身の健やかな成長を促す教育の推進（主体的な心と身体づくり、学校づくり） ア. 体力向上プロジェクト等、体力づくりの工夫改善、新体力テストの実施（体力向上プランの作成） イ. 生活リズムの改善・食に関する指導の充実（食物アレルギー対応） ウ. 安全教育、防災に関する指導の充実 エ. SC との連携など教育相談の充実 オ. 関係機関との連携強化による切れ目のない支援の充実</p> <p>重点2 地域と共創する活力ある学校づくりの推進（地域とともにある学校づくり） ア. 地域一体となって生徒の成長を支えるコミュニティ・スクールの推進による教育力の向上 イ. 積極的な生徒指導体制の充実と安心・安全で充実した教育環境の整備 ウ. 地域の教育力を活かした学習活動・部活動の充実と地域全体で子どもを育む取組の推進 エ. 働き方改革の推進等による質の高い学校教育の提供 オ. 感染症や災害の発生等における学びの補償</p>																												
研究主題	<p>「生徒が自ら考え、伝え合う力を高める学習指導の充実」 ～新学習指導要領の趣旨を取り入れた学び合う場の充実～ 3年計画の第3年次</p>																												
基本的な課 目	<table border="0"> <tr> <td>朝自習</td> <td>8:10 - 8:15</td> <td>昼休み</td> <td>12:50 - 13:05</td> </tr> <tr> <td>短学活</td> <td>8:15 - 8:20</td> <td>5校時</td> <td>13:10 - 14:00</td> </tr> <tr> <td>1校時</td> <td>8:30 - 9:20</td> <td>6校時</td> <td>14:10 - 15:00</td> </tr> <tr> <td>2校時</td> <td>9:30 - 10:20</td> <td>短学活</td> <td>15:05 - 15:15</td> </tr> <tr> <td>3校時</td> <td>10:30 - 11:20</td> <td>清掃</td> <td>15:15 - 15:30</td> </tr> <tr> <td>4校時</td> <td>11:30 - 12:20</td> <td>下校</td> <td>15:30</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>12:20 - 12:50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	朝自習	8:10 - 8:15	昼休み	12:50 - 13:05	短学活	8:15 - 8:20	5校時	13:10 - 14:00	1校時	8:30 - 9:20	6校時	14:10 - 15:00	2校時	9:30 - 10:20	短学活	15:05 - 15:15	3校時	10:30 - 11:20	清掃	15:15 - 15:30	4校時	11:30 - 12:20	下校	15:30	昼食	12:20 - 12:50		
朝自習	8:10 - 8:15	昼休み	12:50 - 13:05																										
短学活	8:15 - 8:20	5校時	13:10 - 14:00																										
1校時	8:30 - 9:20	6校時	14:10 - 15:00																										
2校時	9:30 - 10:20	短学活	15:05 - 15:15																										
3校時	10:30 - 11:20	清掃	15:15 - 15:30																										
4校時	11:30 - 12:20	下校	15:30																										
昼食	12:20 - 12:50																												
校歌	<p style="text-align: right;">佐呂間中学校校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 飯田 広太郎 作曲 千葉 日出城</p> <p>一、連峰はるか雲もえて 光さやけき 朝空に 希望あふるる窓あけて 建てるは佐呂間中学校</p> <p>二、湖白く風落ちて 星もほえむ 夕なぎに 幸ある日々をたたえつつ 肩くみかわすわれらなり</p> <p>三、嵐にめげず 雪こえて 真実に生きん若人が 唇固く 眉あげて 踏みゆく大地下萌えん</p>																												

北海道佐呂間高等学校				校				
所在地	常呂郡佐呂間町字北311番地の1			章				
創立年月日	昭和23年11月25日							
沿革	昭和23年11月25日	道立遠軽高等学校佐呂間分校として開校（定時制）						
	昭和26年4月1日	佐呂間村立佐呂間高等学校となる						
	昭和28年4月1日	町制施行により佐呂間町立佐呂間高等学校となる						
	昭和30年4月1日	農業科設置						
	昭和37年4月1日	全日制課程新設						
	昭和39年3月31日	道立移管 北海道佐呂間高等学校となる						
	昭和54年2月28日	定時制閉課						
	昭和55年10月10日	創立30周年記念式典・校舎改築落成記念式典						
	昭和58年3月7日	網走管内教育実践表彰受賞						
	昭和58年9月22日	網走管内社会福祉事業功労賞（団体）受賞						
	昭和59年2月10日	北海道教育実践表彰受賞						
	平成元年12月15日	屋内体育館完成（966.48㎡）						
	平成3年4月1日	全日制普通科1間口減、2間口となる						
	平成10年3月1日	校訓制定						
	平成10年10月18日	創立50周年記念式典挙行						
	平成11年2月7日	平成10年度網走管内教育実践表彰受賞						
	平成13年2月5日	平成12年度北海道社会貢献賞を受賞						
	平成19年11月15日	平成19年度全国学校体育研究優良校表彰受賞						
	平成20年7月3日	北海道教育委員会環境教育プロジェクト校指定						
	平成22年6月22日	北海道教育委員会「高1クライシス未然防止事業」指定						
平成26年4月1日	全日制普通科1間口減、1間口となる							
平成27年4月1日	北海道教育委員会より「地域キャンパス校」の指定を受ける							
平成30年4月1日	北海道教育委員会より「地域連携特例校」の指定を受ける							
令和3年4月1日	北海道高等学校遠隔授業配信センター(T-base)より遠隔授業の配信を受ける							
職員等	校長	山崎逸子		教諭	法邑亘祐	1・A担任(地公)		
	教頭	清水谷ゆきえ		教諭	原子俊介	2・A担任(国語)		
	事務長	岩城亮助		教諭	稲村拓海	(英語)		
	教諭	奥山輝久	(数学)	養護教諭	後藤里緒			
	教諭	近藤秀治	(保健体育)	専門主任主事	南出正人			
	教諭	関根哲也	3・A担任(商業)	主事(非常勤)	大橋紘子			
	教諭	長野智幸	(理科)					
	教諭	竹岡綾子	(家庭)					
	教諭	橋本結衣	(音楽)					
生徒級数	学年	生徒数	学級数	部活動の状況				
	1年	25	1	サッカー	吹奏楽局			
	2年	19	1	テニス	放送局			
	3年	25	1	バドミントン				
	合計	69	3	バスケットボール				
学校評議員	大谷宏明			名雪公洋				
	鈴鹿保			松本真嗣				
	田宮俊之							
PTA	会長	野津哲也		会計	山下智喜			
	副会長	須田一寛		会計	岩城亮助			
	監事	大室富幸		事務局長	清水谷ゆきえ			

校 訓	郷湖大地に学び自らの道を拓け																					
教 育 目 標	1 自主性を高め、創造的な知性を持つ人となる。 2 豊かな情操を持ち、礼儀正しい人となる。 3 勤労を尊び、奉仕を喜ぶ人となる。 4 生命の尊さを知り、健康でたくましい人となる。																					
教 育 の 方 針	1. スクール・ミッション（本校の使命） (1) 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の課題を主体的に考え、未来を創っていく生徒の育成 (2) サロマ湖を擁する豊かな自然の中で、人とのつながりを大切に、進路実現を目指して地道に努力する生徒の育成 2. スクール・ポリシー（3つの方針） ○育成を目指す資質・能力に関する方針（卒業時に身に付ける力） ・幅広い知識、社会人基礎力を身に付け、自らの進路や社会の未来を切り拓く力と豊かな人間性を備えた人物の育成を目指します。 ○教育課程の編成および実施に関する方針（教育方針） ・確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に対応する力を養うため、次の教育を行います。 (1) 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業により、確かな学力を（※1）育みます。 ※1 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力 (2) 探究的な教育活動によるキャリア教育を展開し、社会人基礎力を（※2）養成します。 ※2 ①自ら挑戦する力 ②最後までやり通す力 ③他者と協働する力 (3) 地域の教育資源を活用し、未来を担う多様で人間性豊かな人材を、地域と共に育成します。 (4) 地域連携特例校のメリットを活かし、ICTを活用した遠隔授業や他校との合同学習の機会を充実させ、協働的な学びを推進します。 (5) きめ細やかで個別最適な学習指導により、生徒の良さや可能性を引き出し、希望進路の実現を目指します。 ○入学者の受け入れに関する方針（入学時に求める生徒像） (1) 本校の使命や教育方針に共感する生徒。																					
研 究 主 題	質の高い魅力ある教育活動を展開して、シティズンシップを育み地域の期待に応える学校																					
基 本 的 な 課 日	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">SHR</td> <td style="width: 35%;">8 : 30 ~ 8 : 40</td> <td style="width: 15%;">昼 食</td> <td style="width: 35%;">12 : 40 ~ 13 : 15</td> </tr> <tr> <td>1校時</td> <td>8 : 50 ~ 9 : 40</td> <td>5校時</td> <td>13 : 15 ~ 14 : 05</td> </tr> <tr> <td>2校時</td> <td>9 : 50 ~ 10 : 40</td> <td>6校時</td> <td>14 : 15 ~ 15 : 05</td> </tr> <tr> <td>3校時</td> <td>10 : 50 ~ 11 : 40</td> <td>SHR</td> <td>15 : 05 ~ 15 : 15</td> </tr> <tr> <td>4校時</td> <td>11 : 50 ~ 12 : 40</td> <td>清 掃</td> <td>15 : 15 ~ 15 : 30</td> </tr> </table>		SHR	8 : 30 ~ 8 : 40	昼 食	12 : 40 ~ 13 : 15	1校時	8 : 50 ~ 9 : 40	5校時	13 : 15 ~ 14 : 05	2校時	9 : 50 ~ 10 : 40	6校時	14 : 15 ~ 15 : 05	3校時	10 : 50 ~ 11 : 40	SHR	15 : 05 ~ 15 : 15	4校時	11 : 50 ~ 12 : 40	清 掃	15 : 15 ~ 15 : 30
SHR	8 : 30 ~ 8 : 40	昼 食	12 : 40 ~ 13 : 15																			
1校時	8 : 50 ~ 9 : 40	5校時	13 : 15 ~ 14 : 05																			
2校時	9 : 50 ~ 10 : 40	6校時	14 : 15 ~ 15 : 05																			
3校時	10 : 50 ~ 11 : 40	SHR	15 : 05 ~ 15 : 15																			
4校時	11 : 50 ~ 12 : 40	清 掃	15 : 15 ~ 15 : 30																			
校 歌	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> 尊き使命 果たすべく 真理の道 とわにたずね 星聖く またたくところ 北の国 空すみわたり </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> あゝ我等 いざ進まん あふるる力 眉上げて 平和の郷 ここに拓き 水白く 輝くところ 遙かなる 佐呂間の湖の </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> あゝ高校 わが学舎 若き誇り 毅然たる 明るき窓 遠く開き 雲青く 流るるところ 大いなる 希望を呼びて </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> 佐呂間高等学校校歌 作詞 飯田 広太郎 作曲 松田 喜一 </td> </tr> </table>		尊き使命 果たすべく 真理の道 とわにたずね 星聖く またたくところ 北の国 空すみわたり	あゝ我等 いざ進まん あふるる力 眉上げて 平和の郷 ここに拓き 水白く 輝くところ 遙かなる 佐呂間の湖の	あゝ高校 わが学舎 若き誇り 毅然たる 明るき窓 遠く開き 雲青く 流るるところ 大いなる 希望を呼びて	佐呂間高等学校校歌 作詞 飯田 広太郎 作曲 松田 喜一																
尊き使命 果たすべく 真理の道 とわにたずね 星聖く またたくところ 北の国 空すみわたり	あゝ我等 いざ進まん あふるる力 眉上げて 平和の郷 ここに拓き 水白く 輝くところ 遙かなる 佐呂間の湖の	あゝ高校 わが学舎 若き誇り 毅然たる 明るき窓 遠く開き 雲青く 流るるところ 大いなる 希望を呼びて	佐呂間高等学校校歌 作詞 飯田 広太郎 作曲 松田 喜一																			

学校教育関係団体

○佐呂間町校長会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
若佐小学校 小林 冬季	佐呂間小学校 池田 潤	佐呂間中学校 安田 吉雄	浜佐呂間小学校 中垣 孝

○佐呂間町教頭会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
浜佐呂間小学校 上野 さえ子	佐呂間小学校 大平 博司	若佐小学校 日村 航	佐呂間中学校 畑 中将志

○佐呂間町学校教育運営協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間町教育長 二神 孝久	佐呂間町教育委員会	

○佐呂間町特別支援教育推進協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間小学校 池田 潤	佐呂間小学校	

○佐呂間町複式教育研究連盟

委 員 長	事 務 局	備 考
浜佐呂間小学校 中垣 孝	浜佐呂間小学校	

○若佐小学校（平成18年 若佐小学校再編）

若佐小学校校歌（作詞：小林幸雄・作曲：大野恒一）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>わみ澄樹 わ清心武 わみ緑朝 れんみ花 れくの士 れんに空 らなむの ら素ちの らな映あ の仲ゆひ の直り流 の明えお 若よくか 若にをれ 若るるく 佐く心る 佐 佐い 小 小伸洗水 小 佐風 学正歌こ 学びい清 学元呂か 校しとの 校ゆさく 校気間お いし庭 くり な山里 子てに 子 子</p>	<p>明治41年 6月 1日 下佐呂間尋常小学校所属「猿澗教授場」として開設</p> <p>大正 3年 4月 27日 武士教育場に昇格</p> <p>大正 3年 9月 5日 武士尋常小学校に昇格</p> <p>大正 5年 5月 10日 補修科併置</p> <p>大正 9年 4月 6日 高等科を併置し、武士尋常高等小学校となる。</p> <p>昭和16年 4月 1日 武士国民学校と改称</p> <p>昭和22年 4月 1日 新学制施行により佐呂間村立武士小学校となる</p> <p>昭和22年 5月 1日 佐呂間村立第2中学校を併置</p> <p>昭和23年 4月 1日 分村により若佐村立武士小中学校となる</p> <p>昭和23年 6月 23日 若佐小中学校と改称</p> <p>昭和24年 11月 1日 併置中学校分離独立</p> <p>昭和31年 9月 30日 佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐小学校となる</p> <p>昭和61年 4月 1日 栃木小学校を統合</p>	

○佐呂間小学校（平成18年 佐呂間小学校再編）

佐呂間小学校校歌（作詞：大塚みつる・作曲：千葉日出城）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>雄競貫白 新海求湖 みき望朝 しいけ樺 たにめ んよめ霧 い励 なつよ湖 なうよ 意め佐白 潮ら のも 朝 気ば呂樺 をな佐う 夢流佐霧 が 間 る呂つ をれ呂 冬小ふ 寄 間る る間晴 燃の学ぶ せさ小空 呼 小れ え日校く てぎ学 ん青学る ても 路 く波校 で雲校山 くる るが いが る</p>	<p>明治40年 6月 15日 鐺沸簡易教育所分校川口教授所の第一特別教授所として開設</p> <p>明治41年 沙溜澗教育所所属第一特別教授所と改称</p> <p>大正 2年 9月 1日 中佐呂澗尋常小学校に昇格</p> <p>大正 4年 4月 1日 中佐呂澗尋常小学校所属富武士教授場設置</p> <p>大正 7年 5月 25日 中佐呂澗尋常小学校と改称</p> <p>大正12年 4月 5日 中佐呂澗尋常高等小学校と改称</p> <p>昭和 2年 4月 3日 中佐呂澗尋常小学校所属富武士教授場が特別教育規定により独立</p> <p>昭和16年 4月 1日 小学校令改正により、常呂郡中佐呂間国民学校となる</p> <p>昭和22年 4月 1日 学制改革により常呂郡佐呂間村立中佐呂間小学校と改称</p> <p>昭和26年 8月 1日 常呂郡佐呂間村立佐呂間小学校と改称</p> <p>昭和28年 4月 1日 町制が施行され、常呂郡佐呂間町立佐呂間小学校と改称</p>	

社 会 教 育

社会教育目標

人生100年時代を迎え、ゆとりと活力に満ち、健やかに過ごしたいという町民の共通の願いがあります。このことから、文化・スポーツなどを通じて生きがいを創造し、豊かな地域づくり・人づくりを目指して主体的に学習実践する町民の育成に努めるため、この社会教育目標を制定します。

人々を 地域を 夢を育む サロマの未来

【知】 未来を語り ともに学び 自ら創り出す サロマ人に

「人は地域を造り、地域は人を作るがごとし」と言われ、先人の知恵を媒体に、個々人は生きて働く力を持つ必要があります。現実を踏まえつつも、未来に夢を抱き、ともに学び続ける意欲を形成することによって時代の変化に対応できる資質の向上を図り、創造する人間像を目指すものです。

【情】 自然を愛し 人を愛し ふるさとを愛する サロマ人に

郷土に生きる喜びを、ともに分かち合い、心豊かで潤いのある社会生活の維持向上のため自然や人々との触れ合いを大切にするとともに、郷土芸能や伝統文化等を介して情操豊かにして、温か味のある人類愛を創造する人間像を目指すものです。

【意】 汗を尊び ぬくもりのある 地域づくりを目指す サロマ人に

勤労を喜びとし、自己啓発をはかり、日々の生活に生きがいを感じ、ゆとりと充実の中に、住民一人ひとりが地域に目覚め、地域とともに成長することを願い、地域に根ざした諸活動への積極的な参加を通して、地域づくりを創造する人間像を目指すものです。

【体】 大地とともに生き たくましく躍動する サロマ人に

大自然の豊かな恵みを受け、心身ともに健康で明日を夢見る生活環境を構築するために健全な心身への関心をもち、日常的に運動に参加し、スポーツの生活化をはかり、生き生きと健康で長生きのできる社会を創造する人間像を目指すものです。

(平成8年2月1日制定)

(令和3年2月17日一部改訂)

■ 解 説

緑豊かで、朝陽に輝く湖、風光明媚な郷土で先人達は、1世紀にわたって己に夢を抱き、ロマンを求め不屈の開拓精神を駆使し、今日的な活気のある佐呂間町の繁栄を築きあげてきました。この先人の残した貴重な伝統を受け継ぎ、21世紀に羽ばたく町民像を創造し、来るべき社会にふさわしい町民の意識や行動の変容が期待されています。

そして町民憲章の英知と友愛と勇気の精神の響きは大きな夢に波及し、人々に生き甲斐と潤いを持たせ、佐呂間町に「住みたい」、「住んでよかった」という未来のサロマを強く希求します。特に今日的課題である『人間性の欠如』に関わって、佐呂間町特有の大自然の優しさ・厳しさを媒体に人々を育み、高い知性とあふれる創造力をもって思いやりや、たくましいサロマ人としての誇り高い町民像を目指したものです。

◆ 推進目標

- 乳幼児教育 親と子の健やかな愛を育む、乳幼児教育の推進
- 少年教育 たくましく豊かな心を育む、少年教育の推進
- 青年・成人教育 潤いと豊かな明日を創る、青年・成人教育の推進
- 高齢者教育 健康で生きがいのある、高齢者教育の推進

■ 解 説

人間は生涯にわたって発達するものであり、発達段階にふさわしい教育目標を設定し、その具現化のために、人的・物的な諸条件を整備充実することにより望ましい人間が形成されるという仮説を立て、方向目標として制定したものです。各目標は、佐呂間町ばかりでなく、広く今日的課題として考察し、未来に希求するサロマの人間像として示したものです。特に、21世紀は心の時代ともいわれ、各発達段階において、必要課題や要求課題等を十分に検討し、達成目標を掲げ施策を試みる必要があります。町民の意識では、全体として、『健やか・たくましさ・潤い・生きがい』を求めていることを踏まえ、町民のニーズに応える内的要求・外的要求を組み合わせながら人間性豊かな人格を形成することを目指しています。

◎ 第8次社会教育中期計画のキーワード

『多様性』

- ・「みんなちがって、みんないい」
近年、多様な人達・価値観・思考が顕在化しています。
それらの多様性を受け入れ活用し、誰もが尊重され活用できる社会の構築が望まれます。

『いのち』

- ・世界各地で自然災害の発生、地域紛争の勃発、そして新たな感染症の拡大など、今多くの命が脅かされています。
改めて一人ひとりが命の大切さを自覚し、尊い「いのち」を考えることが大切です。

『変革』

- ・自然、科学、社会、教育など、私達の日常を取巻く環境は大きく変遷してきました。今後更に変化が予測される社会では変えてならない大切なものを堅持しながら、時代の変化に適応した変革が必要です。

◎ 第7次社会教育中期計画のキーワード

『寿世代』（佐呂間町の社会教育において、60歳以上の世代を呼称する。）

- ・皆長寿社会が定着し、あらゆる方面で、「寿世代」の存在感が増しています。
今後、生産現場に限らず、ふるさとづくりにおいても、「寿世代」が培った知識・技能を活かすことが期待されています。

『居場所』

- ・すべての人が、生き活きと暮らすために、家庭・地域・学校・職場など様々なところで、一人ひとりの「居場所」が必要です。
子どもから「寿世代」まで、あらゆる世代の「居場所」づくりが求められています。

『双方向』

- ・社会が大きく変遷する中、人間関係の希薄化が進み、5年前の東日本大震災以降「絆」やより強い人の繋がりが求められています。
「双方向」からの情報の共有や交流事業を推進し、「学び合う、育ち合う、高め合う」関係をつくる事が必要です。

◎ 第6次社会教育中期計画のキーワード

『絆』

- ・今の時代背景の中で、過疎・少子高齢社会が「限界集落」を、経済不況・人間関係の希薄化が「無縁社会」をつくり出し、一方家庭では介護・育児における家庭の在り方、親子の在り方が大きな問題になっています。
誰もが安心して暮らせるために「支え合う 助け合う つながり合う」人と人との強い「絆」で結ばれた社会の構築が求められます。

『環境』

- ・地球規模の大きな気候変動が、私たちの身近な暮らしにも深刻な影響を与えています。郷土（ふるさと）の豊かな自然を、恵まれた環境を確かなものとして未来に引き継ぐことが私たちの責務であり、そのことが、かけがえのない地球を、かけがえのない生命（いのち）を守ることとなります。

『人間力』

- ・住民の「ビジョン（夢）」、「パッション（情熱）」、「アクション（行動）」によって地域は創造されてきました。多くの課題に取り組まなければならないこれからの地域づくりには、今まで以上に一人ひとりの力が求められています。自ら学び成長することが地域の成長になり、たくましい地域をつくりあげることとなります。

令和6年度 社会教育関係事業

領域		子育て					
課題		○子育て支援に関する情報発信を充実させる必要がある。 ○子育て中の親同士のコミュニティが必要である。 ○ICT機器の利便性・危険性の知識が必要である。 ○学校との連携が必要である。					
方向性		○子育て支援センター事業の充実 ○子育てに関する情報発信の工夫と強化 ○SNSを学ぶ場の提供 ○地域の教育力の活用					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	あいあいらんど	乳幼児期の子どもと親を対象に、家庭ではなかなかできないことや四季折々の行事を体験することで、子どもたちの集団生活への適応性・コミュニケーション能力の向上、親同志の交流を推進する。	未就学児とその親	①6月26日 ②7月11日 ③9月4日 ④10月16日 ⑤12月18日 ⑥1月22日	①町民センター ②佐呂間保育所 ③流水公園 ④町民センター ⑤町民センター ⑥保育所駐車場	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	子育て支援センター、社会教育課、保健福祉課共催 ①えんにち、②ミニコンサート、③バス遠足、④運動会、⑤クリスマス会、⑥雪中運動会
社教	お話あいあい	乳幼児期の子どもを持つ親を対象に、子育てに関する情報を提供することで子育てに対する不安の軽減を図るとともに、子育てについてともに考える仲間づくりを推進する。	未就学児とその親	①5月15日 ②6月5日 ③7月10日 ④8月22日 ⑤9月11日 ⑥11月13日 ⑦2月5日	子育て支援センター (⑥⑦はスター)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	子育て支援センター、社会教育課、保健福祉課共催 ①②歯の大切さ、③⑤救急処置法、④言葉の育む関わり方、⑥⑦親子ふれあい体操
社教	家庭教育学級	親（地域住民）が子育ての知恵を得たり、子ども達にとって望ましい地域環境づくりを進めるための学習機会の場として、学校地域内を中心に開催する。	町内小中学校	随時	学校等		講師謝礼及び消耗品費を教育委員会が支出上限額 ・講師謝礼（年間）20,000円 ・消耗品費（年間）5,000円
社教	家庭教育講演会	家庭教育の重要性を再認識させ、地域の教育力の向上を図る。	乳幼児・児童生徒を持つ親、祖父母ほか	未定	町民センター		町PTA連合会の研究大会に合わせて実施予定（調整中）
社教	子育て講座	町内の親子等が協力して地域の産業などについて学び、地域の食、いのちの大切さ、家族のふれあいなどについて、学ぶ機会を提供する。	乳幼児・児童生徒とその親、祖父母ほか	未定	未定		企画内容は家庭教育推進会議で検討（家庭教育推進会議と共催）
社教	家庭教育推進会議	地域ぐるみで子育てを行う意識を高め、また地域の力を生かして子育て事業の展開を図る。	子育て支援団体、PTA、スポーツ少年団、保健師、子育て支援センター、社会教育課等	①5月 ②10月 ③3月	町民センター等	① ② ③	年度第1回目の会議において、家庭教育講演会、子育て講座等事業について検討
ｽｰ	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングや卓球、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生（保護者同伴）～成人	4月2日（火）～ 3月30日（日）	武道館	—	*平日（火～金） 10:00～21:00 *土曜日・日曜日 10:00～17:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道館利用、その他団体使用時は中止
図書	ブックスタート	(詳細「図書館」領域に掲載)					

領域		育ち					
課題		○ICT機器使用のコントロール力を養う必要がある。 ○SNS等の危険性を学ぶ必要がある。 ○実体験からの学びが必要である。 ○多様な人間との関わりが必要である。					
方向性		○事業の情報発信の強化 ○ICT機器について学ぶ機会の提供 ○事業内容の充実と工夫（体験型・多様性） ○学校との連携強化					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	サイエンスキャラバン	町内の子どもや町民に科学への関心を高めるとともに、実験を通して親子のふれあいや、大人と子どもの交流を深める。	全町民	2月16日（予定）	町民センター	① ② ③	子ども会育成会連絡協議会共催 かまくら雪まつりと同日開催 107人予定、3部入替制で事前予約受付予定
社教	子育て講座	(詳細「子育て」領域に掲載)					
社教 社体	わんぱく広場	地域の身近な自然・人材を活用することにより、ふるさとに対する愛着心の向上を促すとともに、各種体験活動を通じ、学校間、異年齢間の交流を図る。	小学4～6年生	①7月～8月 ②1月	①町民センター（予定） ②未定	①定員30名程度 ②未定	①夏季（宿泊）交流体験（1泊2日）を実施予定 ②冬季スポーツ体験を実施予定

領域		学 び					
課 題		<p>○ICT機器操作の学びを提供する必要がある。 ○対面・交流による学びの場が必要である。 ○誰もが参加しやすい環境をつくる必要がある。 ○女性が参加しやすい学びの場や交流の場が必要である。 ○町民の声が反映された事業づくりや情報提供をする必要がある。 ○学習活動団体の育成をする必要がある。</p>					
方向性		<p>○ICT機器を活用した学びの支援 ○学びへの意欲や理解を促進する環境整備 ○学習・交流の場づくりや支援 ○町民の声（ニーズ）の聞き取りの充実 ○情報提供ツールの拡大</p>					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	佐呂間高校開放講座	生涯学習の観点から地域の教育機関と連携し、町民の学習機会の拡充を図る。	成人	未定 (11月頃予定)	佐呂間高校		佐呂間高校と共催
社教	佐呂間高校生フォトコンテスト	佐呂間高校と地域のつながりや地域創生に向けた高校の魅力化を図るとともに、高校生の郷土愛の醸成を目的に事業を展開する。	高校生	4月26日～1月末 (撮影期間)	町内		佐呂間高校と共催 4/26：R5年度表彰式、岸本氏講演、R6年度事業説明を実施 巡回展示（佐呂間中学校・町民センター・若佐コミセン・浜佐呂間活性化センター・道の駅・サンガーデン・高校）
社教	町民講座「夢工房」	町民が心豊かな生活を送れるよう、また多様な学習要求に応える機会を提供し、学習意欲の向上と日常化を促す。併せて、町内の指導者を活用し新たな人材の育成を図る。	成人	未定	町民センター他		※安保さんが来町される場合は「滲み画教室」を実施予定
社教	寿大学	(詳細「生きがいづくり」領域に掲載)					

領域		健康づくり・スポーツ					
課 題		<p>○健康に関する活動を継続できる事業展開・支援の必要がある。 ○多様化するニーズに対応し、健康に興味・関心を促す取り組みの必要がある。 ○事業、指導者、団体の情報発信強化の必要がある。</p>					
方向性		<p>○ニーズに合わせた活動場所の提供 ○多様なニーズに応えるための指導職員の増員・育成 ○ICTの有効活用</p>					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社体	町技奨励事業 「町長杯ソフトボール大会」	町技であるソフトボールの普及を図る。	全町民	8月頃	総合グラウンド		企画・運営 ソフトボール協会
社体	ヤマ湖100kmウルトラマラソン	今年第39回目を迎えるヤマ湖100kmウルトラマラソン。湧別町を5時にスタートし雄大なヤマ湖を望みながらフィニッシュの北見市常呂町を目指します。(50kmの部は100年広場10時スタート)	成人	6月30日	北見市常呂町 佐呂間町 湧別町		
社体	出前講座	学校での運動事業に対し、スポーツ推進委員を派遣し、新しいスポーツの体験や交流を図る。	小学生	随時			学校と協議し実施予定
社体	スターまつり	スポーツ推進委員が企画運営し委員活動の活性化及び施設の利用促進並びに町民相互の交流を図る。	幼児 ～ 小学生	10月14日予定	スター		体力測定、ニュースポーツ、運動体験、水中ゲーム、絵本読み聞かせ
社体	スポーツ振興助成	本町のスポーツ振興に寄与するスポーツ団体・個人に対し助成を行い、町民の心身の健全な発達とスポーツ意識の高揚を図る。	全町民	随時			全道大会、全国大会、選抜大会参加経費の一部を助成
社体	スポーツ表彰	スポーツの振興に寄与した者及び優秀な成績を収めた者を表彰する。	全町民	10月14日予定 スターまつりと併催	武道館及び 温水プール		・スポーツ功労賞 ・スポーツ奨励賞 ・スポーツ特別賞
社体	学校開放事業	本町のスポーツ振興のため学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、地域住民の健康増進及びコミュニティ形成に寄与する。	全町民	随時	各小中学校		利用種目 佐小：バレー、ミニバス、野球、バドミントン 若小：ミニバレー 浜小：バドミントン 佐中：バドミントン
社体	スポーツチャレンジday	スポーツ推進委員が企画運営し、様々な種目を実施することで子ども・親子でスポーツの楽しさを体験し、運動習慣や協調性を学ぶ場を提供する。	全町民	1月頃	スター・体育館		冬ならではの外遊びや室内でニュースポーツ体験を実施予定
社体	健康ウォーキング	スポーツ推進委員が企画運営し、町民の健康増進、運動の習慣化を図り、更には町民相互の交流を図る。	全町民	①未定 ②1月予定	町内		①コース未定 ②コース未定（スノーシューを装着して実施予定）

社体 スター	さろま健康づくり講座	スターの施設を活用した健康づくり講座を外部講師を招き開催	成人女性	全6回 毎週水曜日 11月6日～12月11日予定	武道館及び 温水プール		詳細未定 (R5実施内容：ダンス系エクササイズ、ボクシング系エクササイズ、ユニバーサルヨガアース、シェイプアップダンス、体幹体操)
			成人	全4回 毎週土曜日 10月5日・12日・19日 ・26日	武道館		*南出指導員 ヨガ教室 *10:30～11:30
社体 スター	からだはぐくむスクール 「ちびっこスキー教室」 「ちびっこ運動教室」	就学前児童に対し、就学に備えた体力づくりとスポーツの楽しさを理解させる。	R7年度新1年生	全3回 1月11日・18日・ 25日	武道館	20組	*毎週土曜日 *13:30～14:15 ※指導協力：山崎指導員
				2月1日(土) ～ 2月15日(土)	町営スキー場		毎週土曜日、3回開催予定 ※予備日2/22(土)
社体 スター	冬期健康プログラム 「こども運動塾」	小学生の運動能力と挑戦する気持ちを引き出す。	小学1～6年生	1月8日(水)～ 3月12日(水)	武道館	各25名	*毎週水曜日(低学年) 毎週金曜日(高学年) *16:00～17:00 全9回 ※指導協力：山崎指導員
スター	元気アップスイミング 「ちびっこコース」	施設の利用方法やプールにおける約束事の確認をしながら初歩の水泳を学ぶ。	R7年度新1年生	【Aコース】(水) 7月17日・24日・31日 【Bコース】(木) 7月18日・25日・ 8月1日	温水プール	各10名	*Aクラス 16:30～17:20 *Bクラス 16:30～17:20 ※事業協力：水泳指導員外
スター	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング コース」	各レベルに応じた段階的指導を行い、楽しみながら水泳を学びプールが好きな教室運営を目指す。	小学1～3年生	5月14日(火) ～ 7月12日(金)	温水プール	各12名	*指導内容：水なれ～クロール息継ぎ *各9回コース *16:00～17:00 ※クラス設定未定 ※事業協力：水泳指導員外
スター	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング& 体幹トレーニングコース」	陸上でのトレーニングと水泳を組み合わせ、総合的な運動能力向上と泳力の向上を目指す。	小学4～6年生	8月22日(木) ～ 10月18日(金)	武道館及び 温水プール	各15名	*指導内容：陸上での体幹トレーニング(発達発達運動)及び水泳の各種泳法 *9回コース *木曜日16:00～17:30 (Cr未習得クラス) *金曜日16:00～17:30 (Cr完泳クラス) ※事業協力：水泳指導員外
スター	秋のらくらく 健康スクール	陸上・水中運動により健康寿命の延伸と施設の利用促進を図る。	成人男女 (高齢者向け)	8/27(火) ～ 10/30(水)	武道館及び 温水プール	各15名～20名	*14:00～15:00(プールは～14:50) *一部外部講師依頼予定
スター	冬期健康プログラム トレーニングミニ講座	気軽に参加できる各種トレーニングに関する講座を開催し、町民の健康維持・増進と施設の利用促進を図る	高校生以上	1月8日(水) ～ 3月12日(水)	トレーニングルーム 武道館 他	各10名	ストレッチング、コンディショニング、筋力運動、ウォーキング等のミニ講座 *水曜日19:00～19:45 *テーマについては事前告知(夢通信、館内配布カレンダー等)
スター	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングや卓球、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生 (保護者同伴) ～成人	4月2日(火) ～ 3月30日(日)	武道館	—	*平日(火～金) 10:00～21:00 *土曜日・日曜日 10:00～17:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道利用、その他団体使用時は中止
スター	パーソナル指導	利用者の目的に合わせた各種トレーニング及び水泳・水中運動の個人指導	幼児 ～ 成人	5月8日(水) ～ 3月30日(日)	温水プール トレーニングルーム 会議室 他	1～5名	*事前予約制 *1人年間12回まで、月2回まで申込み可(但し、プールでの指導はシーズン中1人6回まで) *陸上でのトレーニング指導は小学生以上 *3名以上の指導は18歳以上が対象
スター	指導者派遣事業	指導者派遣依頼・教室開催要望等へ対応	—	通年	スター 他	—	*1団体につき年間3本まで
スター	冬期健康プログラム 「らくらく健康体操」	中高齢者向けに健康体操教室を実施する。	成人 (高齢者向け)	1月7日(火) ～ 3月18日(火)	武道館	各25名	*毎週火・木曜日 全18回 *13:30～14:15
スター	健康スノーシューコース 開放	冬期間の100年広場を活用した屋外スポーツ活動の場を提供することで、町民の健康維持・増進を図る	町民	2月～3月	100年広場(パークゴルフ場及び多目的広場)	—	*貸出用用具設置
スター	日本水泳連盟認定泳力検定会	日本水泳連盟認定の泳力検定を通じて、水泳技術の向上を図る。	小学生以上	10月25日(金)	温水プール	—	*18:30～19:30
スター	水泳指導者講習会	水泳の指導理論及び指導実技研修	町内水泳指導員	日程未定	温水プール 他	—	*内容未定

領域		施設			
課題		<p>○年間を通して子どもたちが安全に遊べる場所が必要である。</p> <p>○多様化する活動に対応するため、施設利用条件を緩和する必要がある。</p> <p>○施設開設状況など利用に関する情報発信強化の必要がある。</p> <p>○施設・設備の維持管理及び新設の検討が必要である。</p>			
方向性		<p>○子どもたちが安全に遊べる場所の提供</p> <p>○更新の検討及び更新の際のバリアフリー化、複合化、集約化</p> <p>○施設利用の利用条件緩和</p> <p>○利用に関する情報発信改善</p>			
係	施設名	主な施設整備	開設年度	休館日・利用時間等	備考
社教	町民センター	施設の維持管理を継続して実施 ①町民センター空調設置工事 【事業費：10,769千円】	昭和52年	休館日：12/29～1/5 利用時間：午前9時～午後10時	①町民センター1階 第1研修室(2台)・2階 第3研修室(2台) エアコン設置工事を実施
社教	開拓資料館	施設の維持管理を継続して実施	昭和52年	休館日：12/29～1/5 利用時間：午前9時～午後5時	
社体	体育館	施設の維持管理を継続して実施	昭和47年	①休館日 ・毎週木曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/29～1/5 ②利用時間 ・月、火、金 午後1時～午後9時 ・水 午後1時～午後9時30分 ・土、日 午前9時～午後5時	
社体	スキー場	スキー場リフト索輪・索受装置取替工事 【事業費：1,903千円】	昭和59年	利用期間：スキー可能な期間 利用時間：午前10時～午後9時	3号支柱上りおよび下りの索輪・索受装置の取替を実施 (平成29年度から毎年実施している)
社体	100年広場		平成4年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	
社体	屋外体育施設	<p>①屋外体育施設除草剤散布業務(即効性) ・若佐PG場、100年広場(PG場、多目的広場)、浜佐呂間PG場 【事業費：1,089千円】</p> <p>②屋外体育施設除草剤散布業務(遅効性) ・若佐PG場、100年広場(PG場、多目的広場)、浜佐呂間PG場 【事業費：1,650千円】</p> <p>③パークゴルフ場等芝生整備工事 ・若佐パークゴルフ場芝張替工事 【事業費：3,949千円】</p>	<p>佐呂間パークゴルフ場 (平成4年)</p> <p>若佐・浜佐呂間パークゴルフ場 (平成10年)</p> <p>佐呂間テニスコート (昭和55年)</p> <p>総合グラウンド (昭和47年)</p>	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	<p>①・②：R3年度の早魃による被害からの芝生再生事業として、芝生の再生を阻害する雑草の駆除を目的としてR4年度に除草剤を散布し、その効果が確認されたため引き続き実施するもの。</p> <p>③若佐パークゴルフ場の芝生維持管理のため、R4年度から3ヵ年計画で芝生の張替を実施。</p>
スク	武道館・温水プール	<p>施設の維持管理を継続して実施</p> <p>①照明LED化工事 【事業費：12,760千円】</p> <p>②トレーニング機器購入事業 【事業費：1,628千円】</p>	平成6年	<p>①休館日 ・毎週月曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/30～1/6 ②利用時間 ・午前10時～午後9時 ・土、日曜日は 午前10時～午後5時 ③温水プールの開館は5～10月</p>	<p>①プール、武道館、ロビーの照明器具(マルチハロゲン灯)のLED化工事。</p> <p>②高齢者向け機能改善機器の購入。</p>

領域		団体支援				
課題		○団体の存続・活動支援を強化する必要がある。 ○多様化する少人数グループの活動促進、情報発信強化をする必要がある。 ○少人数グループの活動場所の提供が必要である。 ○指導者の育成、支援強化する必要がある。				
方向性		○団体活動のPR促進、情報発信強化支援 ○指導者の発掘、育成支援 ○補助金等の支援の継続				
係	団体名	趣 旨	予算額	交付額	備 考	
社教	子ども会育成会連絡協議会	各種事業・研修会の実施、子どもたちの健全育成、リガーの育成、さらには地域の教育力の向上など、町内の単位子ども会の活動を推進するため、町内の子ども会育成会で組織する「子ども会育成会連絡協議会」に対し支援する。(単位子ども会育成会 7 団体)	266,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、サイエンスクラブの共催等	
社教	P T A 連 合 会	親と教師が相互に連携し、研修会への参加や研究大会の開催、地域の教育力の向上など、町内の小、中学校及び高校のP T A で組織する「P T A 連 合 会」の活動に対し支援する。	145,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町P連研究大会、教育懇談会等	
社教	文化連盟	町民に成果を発表、鑑賞する機会を提供し、地域の芸術文化の振興に寄与するなど、本町の文化活動の中心となる活動している「文化連盟」の活動に対し支援する。	600,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、総合文化祭開催、リガー研修等	
社体	佐呂間町スポーツ協会	佐呂間町のスポーツの普及並びに団体の活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「佐呂間町スポーツ協会」の活動に対し支援する。	1,200,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町内大会後援等	
社体	スポーツ少年団本部	佐呂間町の少年スポーツの普及並びに活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「スポーツ少年団本部」の活動に対し支援する。	383,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、講習会への支援等	
社教・社体	佐呂間町文化・スポーツ活動促進事業	対象者を構成員の過半数が町民であるスポーツ協会加盟団体、少年団本部加盟団体、文化連盟加盟団体、指導者を含め5名以上で構成され、1年以上継続している団体・サークル、佐呂間中学校及び佐呂間高校の部活動を対象に、対象団体が主催する講習会等に係る講師謝礼、団体構成員、指導者が参加する講習会に係る旅費等を補助	500,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成	

領域		生きがいがづくり					
課題		○町民の知識・技能を地域に活かす必要がある。 ○要望に対応した学習活動・団体活動の環境整備をする必要がある。 ○社会性を育むための学習機会の提供と参加を促す必要がある。 ○情報通信技術の向上を図る必要がある。					
方向性		○寿世代の知恵の継承 ○個人で取り組むことが難しい活動への支援 ○世代間・分野間の交流事業 ○I C T 機器を活用した生きがいがづくりの支援					
係	事業名	趣 旨	対 象	期日	開催場所	人数	備 考
社教	寿大学	高齢者の生きがいがづくりに寄与するとともに、高齢者の持つ豊富な経験や能力の活用を図る。	60歳以上	通年	町民センター 他	学生数 91名 (内新入生9名)	
社教 社体 スター 図書館	事業講師の活用	町民の社会参加の場づくり、生きがい作りの視点から、社会教育事業の講師・協力者として、積極的に町民の協力を得ながら、事業展開をする	町民	随時			・社会教育事業で積極的に活用する。 ・人材の発掘に努める。

領域		文化財					
課題		○歴史的文化的存在を周知する必要がある。 ○歴史的文化的財を保全整備する必要がある。 ○開拓資料館・町民センター展示室の存在を周知する必要がある。 ○開拓資料館の展示の工夫と展示品を整備する必要がある。 ○説明ボランティアの育成が必要である。					
方向性		○歴史的文化的財・自然風景の情報発信 ○開拓資料館・町民センター展示室の情報発信 ○開拓資料館の名札・説明板などの整備 ○説明を担う人材の育成					
係	事業名	趣 旨	対 象	期日	開催場所	人数	備 考
社教	佐呂間の歴史を学ぶ (小学生フィールドワーク)	小学生の社会科の学習において、佐呂間町の開拓の歴史に触れてもらう機会を提供し、先人たちが開拓した当時の様子や生活の移り変わりを学んでもらう	小学3・4年生	随時	開拓資料館		
社教	郷土資料の展示	佐呂間町における開拓資料を収集、保存展示し、教育、学術文化の進展に寄与する。	全町民	常設	開拓資料館 町民センター		

領域		芸術・文化					
課題		○芸術・文化の情報を発信する必要がある。 ○芸術文化支援事業について周知する必要がある。 ○団体・サークルへの活動支援が必要である。					
方向性		○芸術・文化活動の情報発信の強化 ○芸術文化支援事業についての周知の工夫 ○団体・サークルへの活動支援の強化 ○団体・サークル間の交流促進					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	ミニ劇場	幼児に生の芸術に触れる機会を提供し、創造性を養い、豊かな情操を育む。	町内保育所児・その他幼児ほか	7月11日	佐呂間保育所		幼児向けの音楽コンサート（ひのき屋）
社教	少年文化劇場 (小学生・中学生対象)	芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化に対する理解と親しみを深めるとともに、情操面での発達を促す。	小・中学生全員	①9月5日(木) ②8月28日(水)	①佐呂間小学校 ②佐呂間中学校		①人形劇「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」(人形劇団ひとみ座) ②「お笑いステージ鑑賞・生徒たちによる新喜劇公演(仮称)」 (株式会社彌楽 アップダウン)
社教	ジョイントコンサート	町内の吹奏楽団体が一堂に会し、各団体の日頃の練習成果を広く町民に発表する機会を提供するとともに、団体間の親睦や技術の向上を図り、また音楽を通じた青少年の健全育成と町民との繋がりを目的とする。	全町民	12月7日(土)	町民センター		R4・R5年度は、佐呂間中学校吹奏楽部と佐呂間高校吹奏楽局のジョイントコンサートとして後援していましたが、「賛助出演者」も増えてきたことから、改めて実施の趣旨と形態を見直し、町内の吹奏楽部OBを中心に、各吹奏楽顧問の協力を得ながら、コンサートの開催を目指す。
社教	ミニ・ギャラリー	各種作品の発表の場及び観賞の場を提供することで、芸術文化の振興を図る。	全町民	随時	町民センター 1階ロビー		有効的に使用いただけるよう引き続き周知
社教	現代墨絵作家 「安保 真」作品展 (墨絵教室の開催)	佐呂間町出身芸術家の作品を町内の多くの方に観てもらおうとともに、墨絵(滲み画)原画の作品展をおし芸術活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供し、豊かな心と感性を育み、芸術への関心を高めてもらう機会とする。	全町民	8月(予定)	図書館		墨絵、滲み画ほか原画を展示 滲み画教室については、作家来場時に実施
社教	芸術文化支援事業	佐呂間町内における芸術文化公演等の鑑賞機会の充実を図り、また町民の自主的な芸術文化活動の活性化を図る。	全町民				・事業費補助 ・会場使用料免除 ・チケット取り扱い ・町民センター優先予約 ・名義後援
社教	文化講演会	町が主催で著名人による講演会を開催し、町民の文化意識を高め、芸術文化活動の活性化を図る。	全町民	未定			調整中
社教	芸術文化表彰	芸術文化の振興及び普及発展に顕著な実績又は功績のあった者を表彰する。	全町民	1月初旬締切 各団体へ推薦依頼			受賞対象期間を1月1日～12月31日として、11月頃推薦依頼を実施
社教	二十歳の成人式 記念事業	新成人を祝福するとともに、新たなスタートへの自覚を促す。	平成16年4月2日～ 17年4月1日までに 生まれたもの	1月12日(日)	町民センター		成人式の祝賀行事として、成人式終了後に鑑賞事業等を予定
社教	音届けコンサート	町内では触れる機会の少ない質の高い音楽に触れる機会を提供することにより、子ども達や町民に音楽を愛する心を育て、豊かな情操を養う。 プロの音楽家達と佐呂間高校吹奏楽局員で演奏グループを結成し、町内各所に向いて小さいコンサートを開催することで、音楽を身近に感じてもらうとともに、出演する高校生にとっても、プロと共演する機会を提供する。	全町民	12月予定	①佐呂間小学校 ②佐呂間中学校 ③佐呂間高校 ④町民センター		佐呂間高校吹奏楽局顧問と協力

領域		情報・制度					
課題		○情報発信を工夫する必要がある。 ○各種学習支援を周知する必要がある。 ○サポーターバンクを周知する必要がある。					
方向性		○ホームページの内容充実 ○SNSなどによる情報発信力の向上 ○各種学習支援制度・サポーターバンクの周知					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
社教	町広報「夢つうしん」	生涯学習に関する啓もう・啓発のための広報活動を展開する。学校教育、社会教育事業について、積極的に周知する。	全町民	毎月			・令和6年度5月号より町広報の「夢つうしん」ページにおいて、より多くの情報を掲載して参ります。
社教	遠軽地区学習支援ネットワーク事業「なな・なんと情報」	遠軽地区各町村事業の情報を広く周知することにより、住民の学習機会の拡大を図る。	全町民 (広報折り込み)	偶数月			遠軽地区教育委員会協議会主催事業 (R6編集担当 佐呂間町)
社教	地域学習活動支援事業「まなびすと」	住民からの学習要望に対し必要な支援を行うことにより、住民の自発的な学習意欲の助長、学習機会の拡大を図り、地域生涯学習の充実・促進を図る。	町内で5人以上で組織する団体	随時			学習要望に対する指導・助言(人的支援) (金銭的援助)上限額 ・講師謝礼 20,000円 ・消耗品費 5,000円
社教	サポーターバンク	町民の多様な自主的生涯学習活動を奨励・支援し、生涯学習活動の普及発展を図るとともに、町民が永年にわたって蓄積した知識、技能等を地域社会に還元する人材の発掘により社会参加を促進する。	全町民	随時			内部資料として管理
社教	芸術文化表彰	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社教	芸術文化支援事業	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社体	スポーツ表彰	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
社体	スポーツ振興助成	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
図書	新着図書情報	(詳細「図書館」領域に掲載)					
図書	図書館だより「こちら佐呂間町立図書館です。」	(詳細「図書館」領域に掲載)					
社教 社体 スター 図書	インターネットを活用した情報提供	町ホームページなどを活用しながら情報発信を行う。	全町民	随時			

領域		図書館					
課題		<p>○図書館事業の情報発信に工夫が必要である。 ○学校図書との連携を図る必要がある。 ○司書を有効的に活用する必要がある。 ○図書館全体のレイアウトの検討が必要である。 ○図書館ボランティアが必要である。</p>					
方向性		<p>○情報発信力の向上 ○学校図書との連携強化 ○司書の有効活用 ○読書スペースの拡充 ○図書館ボランティアの配置</p>					
係	事業名	趣旨	対象	期日	開催場所	人数	備考
図書	ブックスタート	子育て支援として絵本の活用を促進し、乳幼児と保護者の図書館の利用拡大を図る。 乳児と保護者に、読み聞かせの体験と組み合わせ、絵本を渡す。	乳児・保護者	偶数月 第4木曜日	佐呂間 コミセン	24組見込	9・10ヶ月児対象の乳幼児健診に合わせて実施 「ぺんぎんたいそう」 「せん」
図書	セカンドブック	ブックスタート後、改めて絵本を通じての親子のふれあいの大切さを伝える。	3歳児	偶数月 第4木曜日	佐呂間 コミセン	34名見込	3歳児対象の乳幼児健診に合わせて実施 「くまくんのあさごほん」 「おぼけのカレーパン」
図書	移動図書館車巡回及び文庫サービス	情報及び資料提供の地域格差を解消し、図書館活動のPR、新刊案内等広域的なサービスの提供を行う。また子どものうちから読書に対する興味、関心を高め、読書習慣を身につける。	全町民	随時			(巡回サービス)4ヶ所 ・各小中学校 (文庫サービス)2ヶ所 若佐コミセン・浜佐呂間活性化センター (団体貸出)22ヶ所 ・各小中学校・高校・保育所・子育て支援センター・老人福祉センター・ケアハウス・スター・めるくる・森永・スター・JA・町民課 他 (宅配サービス R5.10月開始) 9名
図書	絵本原画展	絵本の原画を観ることにより、興味関心をもち、本に親しみを感ずってもらう。	全町民	8月6日～8月20日	図書館		絵本パネル巡回展 あべ弘士「あてっこ どうぶつずかん だれ」 ※オホーツク図書館協議会遠紋ブロック共同事業
図書	読書感想文・感想画コンクール	読書を通して子どもの豊かな感性や表現力の向上を図るとともに、読書習慣を育てる。	各小中学校 児童・生徒		図書館		*実施内容5月に学校図書連絡会議で決定 ・作品募集 6月 ・作品受付締切 9月 ・感想画展示(館内)11月 ・審査(感想画11月 感想文11月) ・盾・記念品授与 2月 ・作品集贈呈 2月
図書	図書館講演会	本・物語・読書に関連する講師・実演者を招き、講演会や講習会を行う。	全町民	①7月27日 ②10月6日	図書館		①岸田典大 絵本読み聞かせ ※オホーツク図書館協議会遠紋ブロック共同事業 ②山本孝(絵本作家) 講演内容:未定
図書	おはなし広場	幼い時から絵本や紙芝居の読み聞かせにふれることで、読書の楽しさを身につけてもらう。	幼児・児童 保護者	毎週土曜日 午後2時	図書館		図書館職員又はボランティアが読み聞かせを行う 令和6年3月末現在 ボランティア2名登録
図書	人形劇公演	人形劇サークルによるボランティア活動を通して、絵本や童話の世界と子どものふれあいを図る。	幼児～一般	年数回	図書館・保育所		人形劇サークル「ばんぶきん」による人形劇、パネルシアター、ミュージックシアター、大型紙芝居の公演を行う 老人施設や団体からの要請にも対応する 平成29年度からは交通安全人形劇も実施
図書	映画上映会	映画鑑賞を通して、本や物語との出逢いを感じる。	幼児～一般	定期	図書館		おはなし広場終了後に会議室等で開催 DVD作品を借り上げ、または購入し上映する
図書	子ども向け事業	学校休業期間中に図書館に親しむ機会を設け、図書館の利用促進を図る。	児童	夏休み・冬休み等 学校休業期間	図書館		子ども向け事業を開催
図書	図書館まつり	図書館に訪れるきっかけを作ることで、図書館のPR及び利用拡大を図る。	幼児～一般	9月8日	図書館		各種行事を実施する ・古本市 ・実演 等 ※お手伝い協力依頼は行事内容により検討
図書	新着図書情報	図書館に登録された新刊をとりまとめ、広く町民に知らせる。	幼児～一般	月1回	図書館及び 町ホームページ		印刷物をカウンター前で配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布 高齢者向け簡略版を寿大学、ふれあい郵便に同封 児童向けを各学校、支援センター等へ配布
図書	図書館だより「こちら佐呂間町立図書館です。」	特集コーナーの紹介や、行事の告知など、図書館の情報を発信し、来館のきっかけを作る。	幼児～一般	月1回	図書館及び 町ホームページ		印刷物をカウンター前で配布 町内の学校・施設へ配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布
図書	20歳の20冊	「読書を通して自立した社会人になってほしい」との思いを込め選んだ	平成16年4月2日～ 17年4月1日までに 生まれたもの	1月12日	町民センター		成人式において実施(欠席者には送付)
図書	学校図書室との連携	学校と連携し、学校図書室の利用促進を図るため司書を中心とした図書館職員を派遣し、利用しやすい図書室づくりをサポートする。					

社会教育団体

■ 少年団体

○佐呂間町子ども会育成会連絡協議会

会 長 佐々木 崇

事務局長 土本 千晶

団 体 名	育成会代表者名	子ども会員数	育成会員数
はばたけ子ども会	佐々木 崇	18	15
とびたて子ども会	遠藤 恵美	28	24
中学区青空子ども会	三好 辰弥	18	18
うきうき子ども会	早坂 浩一	28	23
富武士子ども会	藤崎 康平	18	9
若里子ども会	井田 喜一郎	11	8
若佐子ども会	谷口 元気	28	23
計		149	120

■ 成人団体

○佐呂間町PTA連合会

会 長 杉山 友洋

事務局長 大平 博司

団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
若佐小学校PTA	谷口 元気	36
佐呂間小学校PTA	杉山 友洋	115
浜佐呂間小学校PTA	土門 伸介	19
佐呂間中学校PTA	河井 裕樹	122
佐呂間高校PTA	野津 哲弥	66
計		358

■ 文化団体

○佐呂間町文化連盟

会 長 井上 孝一

事務局長 大宮 義勝

区 分	団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
華 道	華松園 (松月堂古流)	天内 和子	7
歌 謡	カラオケ愛好会	大澤 栄子	11
歌 謡	カラオケあすなろ	山口 哲夫	3
歌 謡	カラオケ寿	村岡 マチ子	9
歌 謡	ハマナス	佐々木 昭一	13
日 舞	若柳臣流・若寿会	若柳 吉竹寿	23
ダ ンス	社交ダンス同好会	日沼 洋子	10
ダ ンス	キッズダンス	佐々木 由理佳	10
ハワイアン	レイアロハ・フラの会	押野 恵	8
詩 舞	聖月流若佐	野畑 ふみ子	5
大 正 琴	大正琴くるみ会	檜 垣 久美子	7
大 正 琴	藤朋流	杉本 久美子	9
詩 吟	静雲國暁流	井上 孝一	4
	計	13 団体	119

■ 体育団体

○ 佐呂間町スポーツ協会

会 長 尾 崎 実 事務局長 草 野 雅 之
 副 会 長 木 村 功 事務局 室 井 公 太
 // 大 宮 克 美

団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間町野球協会	宇野利喜夫	野村均	108
佐呂間町剣道協会	窪田直喜	幸松賢	16
佐呂間町ソフトボール協会	大宮克美	志賀克浩	95
佐呂間町ブルームボール協会	室井久志	中原央人	40
佐呂間町ゲートボール協会	矢吹勇吉	高井弘子	23
佐呂間スキー協会	門茂治	山本幸代	20
佐呂間ゴルフ同好会	船木邦雄	水田勝彦	46
佐呂間パークゴルフ協会	水戸秀美	水戸秀美	99
佐呂間町サッカー協会	阿部真	阿部楓馬	21
サロマテニス協会	山原光広	山原光広	15
佐呂間町卓球協会	渡井靖夫	永井啓子	10
佐呂間町陸上競技協会	尾崎実	土本千晶	
計 (12 団体)			493

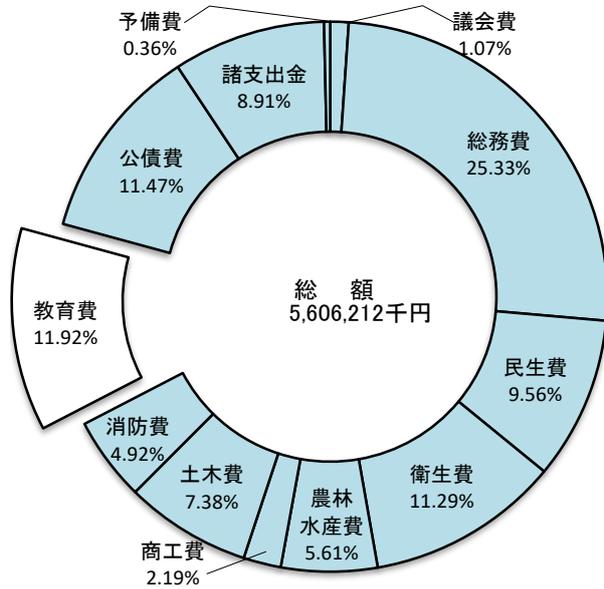
○ 佐呂間町スポーツ少年団本部

本 部 長 本 間 満
 副 本 部 長 鹿 島 裕 明
 事 務 局 長 吉 本 薫

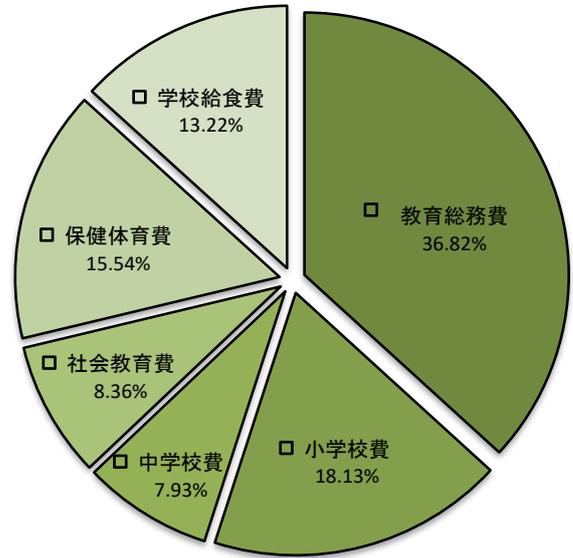
団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間野球スポーツ少年団	鹿島裕明	鹿島裕明	14
佐呂間柔道スポーツ少年団	尾崎実	尾崎実	6
佐呂間バレーボール少年団	吉本薫	吉本薫	11
佐呂間スピードスケート少年団	佐伯悟	佐伯悟	12
佐呂間サッカー少年団	野村林太郎	森要	16
佐呂間ミニバスケットボール少年団	本間満	本間満	29
サロマジュニアラグビー少年団	尾崎実	尾崎実	0
計 (7 団体)			88

教 育 予 算

■令和6年度一般会計款別予算



■令和6年度教育費項目別割合



■教育費項目別予算額 (令和6年4月1日現在)

歳 出 予 算				財 源 内 訳			
項	目	予算額 (千円)	割合 (%)	国 道 支出金	地方債	その他	一般財源
教育総務費		246,087	36.82%			24,379	221,708
	教育委員会費	1,650					1,650
	事務局費	138,016				7	138,009
	教育財産管理費	75,509				2,513	72,996
	教育振興費	30,912				21,859	9,053
小学校費		121,144	18.13%	4,501		28,100	88,543
	学校管理費	92,155		12		28,100	64,043
	教育振興費	28,989		4,489			24,500
中学校費		52,994	7.93%	116		10,700	42,178
	学校管理費	40,326		26		10,700	29,600
	教育振興費	12,668		90			12,578
社会教育費		55,882	8.36%		10,700	4,768	40,414
	社会教育総務費	11,628				1,617	10,011
	町民センター運営費	30,103			10,700	151	19,252
	図書館費	14,151				3,000	11,151
保健体育費		103,869	15.54%		11,400	7,448	85,021
	保健体育総務費	20,936				5,079	15,857
	体育館費	10,341				159	10,182
	スキー場管理費	6,521				1,236	5,285
	武道館・温水プール費	66,071			11,400	974	53,697
学校給食費		88,355	13.22%			36,389	51,966
	学校給食費	88,355				36,389	51,966
合 計		668,331	100.00%	4,617	22,100	111,784	529,830
財源割合 (%)				0.69%	3.31%	16.73%	79.28%

教 育 施 設

施設の概要（令和6年5月1日）

■ 小学校

事 項 学校名	校地面積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐呂間小学校	31,897	73	3,448		3,521	27	1,061	1,088
若佐小学校	39,998		1,726	276	2,002	15	717	732
浜佐呂間小学校	36,593		2,469		2,469		726	726
合 計	108,488	73	7,643	276	7,992	42	2,504	2,546

■ 中学校

事 項 学校名	校地面積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐呂間中学校	33,970		3,454	169	3,623		1,052	1,052

■ 佐呂間町学校給食センター

建物面積 (㎡)	設 置 年 月 日	所 在 地	備 考
889	平成19年3月22日	佐呂間町幸町1番地の1	平成19年4月9日から各学校へ供用開始

■ 社会教育施設

施設名	規模 (㎡)	設置年月	所在地	施設の概要
町民センター	2,322	S52.6	永代町	集会室、展示ロビー、研修室他
開拓資料館	110	S52.3	永代町	農具、漁具、生活用具 約200点展示
図書館	797	S58.12	永代町	児童館併設
体育館	2,020	S47.10	西富	アリーナ外
武道館・温水プール	3,663	H6.9	西富	武道館、温水プール、トレーニングルーム、ストレッチルーム、ランニングコース
浜佐呂間プール	534	H3.7	浜佐呂間	簡易プール
総合グラウンド	28,363	S47.10	西富	照明施設 8基 ソフトボール場2面・野球場1面
100年広場多目的広場	10,800	H6.5	西富	芝コート
100年広場パークゴルフ場	41,897	H6.5	西富	照明施設 2基 36ホール
100年広場ゲートボール場	1,437	H6.5	西富	3面
テニスコート	1,469	S55.8	西富	照明施設 1基 2面
浜佐呂間テニスコート	851	H7.12	浜佐呂間	照明施設 4基 1面
浜佐呂間パークゴルフ場	24,288	H10.2	浜佐呂間	18ホール
若佐ゲートボール場	2,304	H10.2	若佐	2面
若佐パークゴルフ場	17,868	H10.2	若佐	18ホール
若佐テニスコート	685	H10.2	若佐	1面
スキー場	93,140	S59.12	西富	ロッジ 照明施設 8基 搬器 72台

施設の利用状況（令和5年度）

■ 町民センター

区 分	集会室	控 室	調 理 室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	和 室 (1.2.3)	会 議 室	託 児 室	ロビー・ 2F展示室	合 計
利用件数	254	48	77	189	84	64	42	127	45	29	103	1,062
利用人数	11,038	559	602	1,577	493	685	247	874	216	50	1,042	17,383

■ 図書館

区 分	本 館	B M 車	若 佐 コミセン	浜佐呂間	学 校 巡回文庫	団 体 貸 出	宅 配	合 計
貸出冊数	22,806	943	234	5	7,225	10,089	562	41,864
貸出人数	5,336	445	72	5	477		94	6,429

■ 開拓資料館

利用人数	利用日数
37	13

■ 武道館・温水プール

区 分	武 道 館	温 水 プ ー ル	ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	研 修 室 会 議 室	和 室	ラ ン ニ ン グ コ ー ス	そ の 他	合 計
利用人数	5,030	4,228	5,284	560	190	830	1,276	17,398

■ 体育館

利用人数	利用日数
6,876	292

■ テニスコート

区 分	佐 呂 間	浜佐呂間	若 佐	合 計
利用人数	387	0	0	387
利用日数	87	0	0	87

■ スキー場

利用人数	利用日数
14,666	32

■ 100年広場

区 分	ハ ー ク コ ー ル フ 場	多 目 的 広 場	合 計
利用人数	6,665	4,791	11,456
利用日数	198	148	346

■ 総合グラウンド

区 分	ソ フ ト ホ ー ル 場	野 球 場	フ ー ル ム ホ ー ル	合 計
利用人数	1,184	2,309	40	3,533
利用日数	34	90	2	126

■ 若佐ゲートボール場

利用人数	利用日数
860	86

■ 浜佐呂間プール

利用人数	利用日数
221	28

■ 学校開放

区 分	佐呂間小	若 佐 小	浜佐呂間小	佐呂間中	合 計
利用人数	3,178	66	223	0	3,467
利用日数	155	3	25	0	183

■ パークゴルフ場

区 分	若 佐	浜佐呂間	合 計
利用人数	3,551	600	4,151
利用日数	198	198	396

教育関係委員名簿

■ 教育委員（5名）

氏名	任期	備考
二神孝久	令和6年4月1日～令和7年9月30日	教育長
平戸鉄也	令和5年10月14日～令和9年10月13日	教育長職務代理
内藤宏文	令和4年10月14日～令和8年10月13日	
江刺徳明	令和2年10月14日～令和6年10月13日	
市村由佳	令和3年10月14日～令和7年10月13日	

■ 社会教育委員（18名以内） 任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

氏名	備考	氏名	備考
真如智子	委員長	佐々木理有	
尾崎実	副委員長	檜垣久美子	
西岡理恵	副委員長	三島木羽由希	
草野宏繁		本間恵奈	
山崎逸子		住吉浩実	
佐藤優紀		大脇茂雄	
船木桂輔		今野敦子	
室井公裕		佐藤元展	
室井隆治			

■ スポーツ推進委員（8名以内） 任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

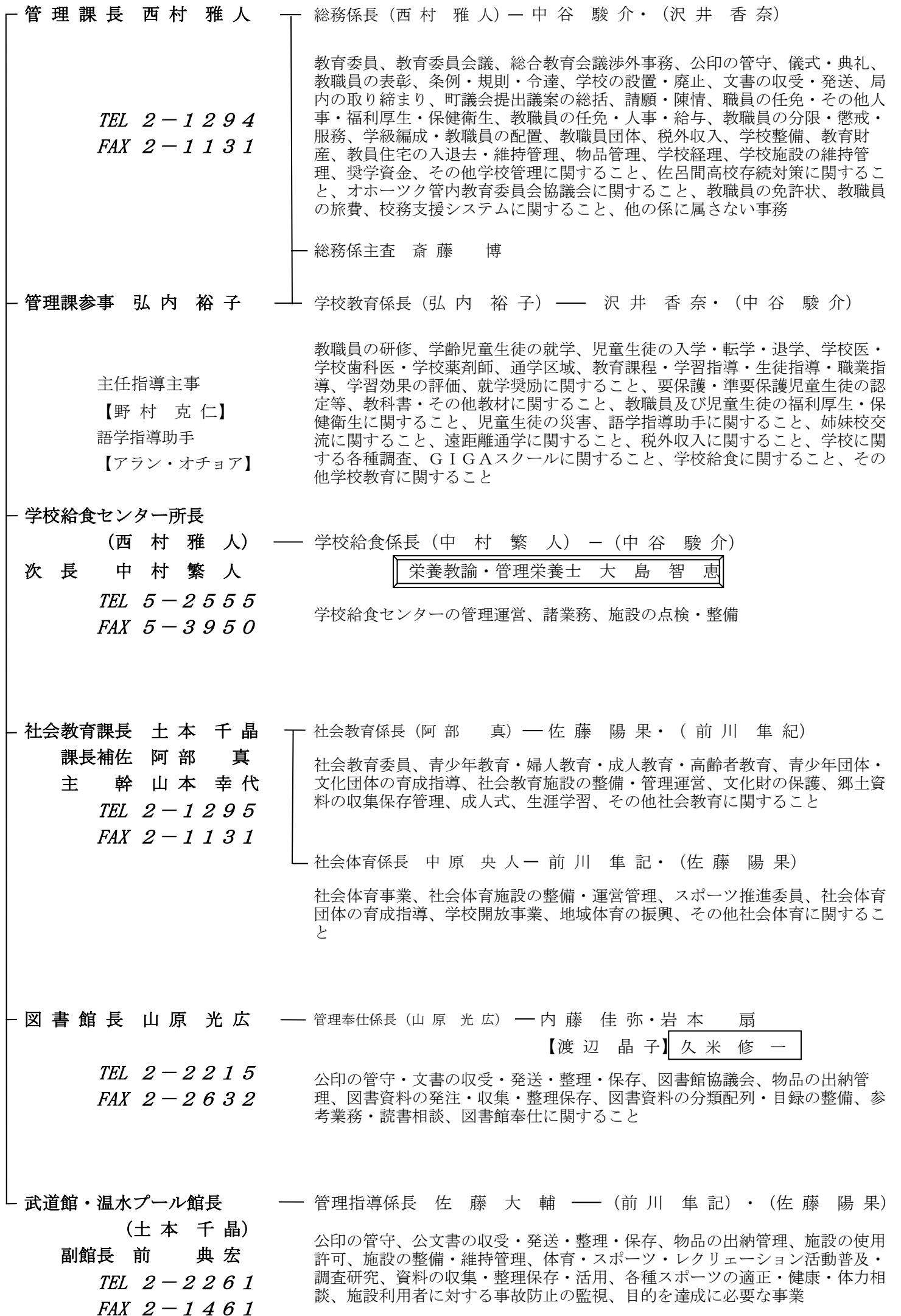
氏名	備考	氏名	備考
室井久志	委員長	住吉健司	
佐伯優一	副委員長	山崎亜弥	
柏尾郁未		田宮奈々	
宇野優利		佐久間梨緒	

■ 佐呂間町教育委員会事務局の機構（令和6年4月1日現在）

() 兼務職員 再任用職員

【 】 会計年度任用職員

教育長
二
神
孝
久



佐 呂 間 町 民 憲 章

わたくしたちは、森と湖のきびしい大自然の中で開拓した先人のたくましい精神を受けつぐ佐呂間町民であることを誇りとしています。

わたくしたちは、自然の恵みに感謝しながら生きがいのある生活確立し、希望と自信をもって、ひとりひとりの幸せと未来に伸びゆく、豊かで明るいまちをつくるため、この憲章を定めます。

わたくしたち佐呂間町民は、英知と友愛と勇気をもって、

- 1 自然の恵みを生かし、美しく住みよいまちをつくります。
- 1 進んできまりを守り、明るく平和なまちをつくります。
- 1 たがいに助け合い、あたたかく幸せなまちをつくります。
- 1 仕事に誇りをもち、楽しく豊かなまちをつくります。
- 1 若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくります。

(昭和50年12月11日制定)

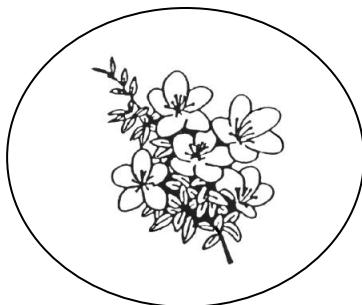
生涯スポーツの町宣言

わたくしたち佐呂間町民は、生涯を通じて、スポーツを愛したくましい心と体を鍛え、健康で明るい豊かな郷土を築くため「生涯スポーツの町」を宣言します。

- 1 スポーツを愛し、豊かな心と健やかな体をつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、いつまでも活力ある生活を送りましょう。
- 1 スポーツを楽しみ、ふれあいと友情を深めましょう。
- 1 スポーツの輪を広げ、明るく住みよいまちをつくりましょう。

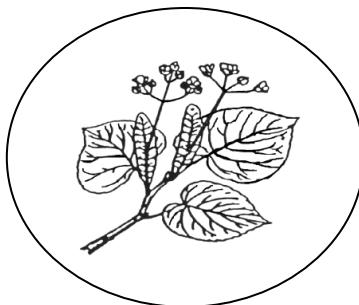
(昭和62年5月7日宣言)

町 花



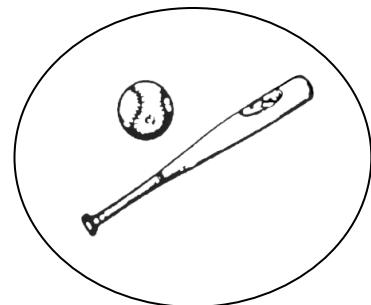
エゾムラサキツツジ

町 木



オオバボダイジュ

町 技



ソフトボール

(昭和59年9月12日制定)

「令和6年度 佐呂間町教育の概要」

佐呂間町教育委員会 管理課総務係

TEL : 01587 (2) 1294

FAX : 01587 (2) 1131

E-mail : kyoui@town.saroma.hokkaido.jp